

1	予算事業名	経営・法人化支援事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(1) 横芝光町の基幹産業である農業の強化				
			② 農業経営体に対する支援				
		具体的な事業	経営・法人化支援事業（新規）				
掲載ページ	13 頁						
3	事業概要	農業経営の法人化を進め、専門家による相談・指導体制の整備による経営力のある担い手を育成する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	経営者研修及び新規就農者研修に係る講師の選定、講師謝礼 ・経営者研修 30,000円(2回) ・新規就農者研修 6,000円(3回) 事業に係る周知 ・啓発用パンフレット購入 9,000円(120部) ・研修会時飲料 3,320円(2回) ・事業概要周知郵便物郵送料 8,506円(118通)				
		29年度実績	経営者研修及び新規就農者研修に係る講師の選定、講師謝礼 ・経営者研修 80,000円(4回) ・新規就農者研修 24,000円(4回) 事業に係る周知 ・事業周知郵便物郵送料 9,082円(126通)				
		30年度実績	経営者研修及び新規就農者研修に係る講師の選定、講師謝礼 ・経営者研修 ・新規就農者研修 ・事業実績 なし 農業経営体育成セミナーへの参加促進、新規就農相談センターと連携した就農相談活動				
		31年度実績	経営者研修及び新規就農者研修に係る講師の選定、講師謝礼 ・経営者研修 ・新規就農者研修 ・事業実績 なし 農業経営体育成セミナーへの参加促進、新規就農相談センターと連携した就農相談活動				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	696	696 加速化	57	57 加速化	
		㉒	495	247 推進	114	57 推進	
		㉓	287	143 推進	0	0	
		㉔	287	143 基金	0	0	
計	1,765	1,229	171	114			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	大規模農家数(認定農業者の法人)【5増加】	目標2	新規就農者【25人増加】	
			計画	実績	計画	実績	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	1	0	5	0	
		㉒	1	1	5	7	
		㉓	1	3	5	10	
		㉔	2	1	10	3	
		計	5 経営体	5 経営体	25 人	20 人	
	進捗率	100.00 %	進捗率	80.00 %			
確認方法	法人登記、認定農業者の認定証		就農の実態調査				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	対象者を広めに検討し、若手の先輩農業者も関与できる体制を検討する
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	情報周知により参加者を増やし、取り組んでほしい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	効果的な周知により、今後も計画どおり進める 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年6月24日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	関係機関と連携し、事業を推進すべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：事業の方向性を定めて進めるべきである		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 事業内容を精査し、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	新規就農支援事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(1) 横芝光町の基幹産業である農業の強化				
			② 農業経営体に対する支援				
		具体的な事業	新規就農支援事業（新規）				
掲載ページ	13 頁						
3	事業概要	専門家による相談・指導体制の整備を行い、新たな担い手の育成・確保を推進し農業による雇用確保を図る。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	就農支援臨時職員の選定及び賃金 ・改良普及等経験者 256,800円(24日) 事業に係る要綱等の制定及び周知 ・事業概要周知郵便物郵送料 19,855円(123通) 経営体への助成 ・助成対象者 新規就農者、新規就農意向者 ・助成対象経費 新規就農に必要な営農経費等 ・助成率 ①営農経費の1/2（上限250,000円） ②機械施設費の1/2（上限250,000円） ①+②により、1経営体上限500,000円 ・事業実績 なし				
		29年度実績	就農支援臨時職員の選定及び賃金 ・改良普及等経験者 684,800円(64日) 経営体への助成 ・助成対象者 新規就農者、新規就農意向者 ・助成対象経費 新規就農に必要な営農経費等 ・助成率 ①営農経費の1/2（上限250,000円） ②機械施設費の1/2（上限250,000円） ①+②により、1経営体上限500,000円 ・事業実績 なし				
		30年度実績	就農支援臨時職員の選定及び賃金 ・改良普及等経験者 ・事業実績 なし 経営体への助成 ・助成対象者 新規就農者、新規就農意向者 ・助成対象経費 新規就農に必要な営農経費等 ・助成率 ①営農経費の1/2（上限250,000円） ②機械施設費の1/2（上限250,000円） ①+②により、1経営体上限500,000円 ・事業実績 なし				
		31年度実績	事業実施なし				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	1,548	1,048	277	277	加速化
		㉒	1,528	514	685	342	推進
		㉓	1,528	514	0	0	
		㉔	0	0	0	0	
計	4,604	2,076	962	619			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	新規就農者【25人増加】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	0	0			
		㉒	5	0			
		㉓	5	7			
		㉔	5	10			
		㉕	10	3			
		計	25 人	20 人	0 件	0 件	
	進捗率	80.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
	就農の実態調査						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	J Aによる営農指導や、普及員による指導の活用も検討すること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	新規就農者を確保するため、事業を効果的に活用する
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
			外部有識者からの意見	事業実績が出るよう工夫が必要ではないか
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	制度の見直しを検討する
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年6月24日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
			外部有識者からの意見	周知不足であるほか、関係機関と連携すべきである
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	中止		
	今後の方針の理由	事業内容を見直し、新たな事業を検討する		
9	備考		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
			評価：総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない 意見：特になし	
			横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			今後の方針：終了 事業内容を見直し、今後は農業経営基盤強化促進対策事業の中で取り組み方法を検討する	

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	29年度も実績がなければ、制度の見直しを検討する
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
			外部有識者からの意見	事業実績が出るよう工夫が必要ではないか
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	制度の見直しを検討する
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年6月24日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない		
	外部有識者からの意見	周知不足であるほか、関係機関と連携すべきである		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	中止		
	今後の方針の理由	事業内容を見直し、新たな事業を検討する		
9	備考		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
			評価：総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない 意見：特になし	
			横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			今後の方針：終了 事業内容を見直し、今後は農業経営基盤強化促進対策事業の中で取り組み方法を検討する	

1	予算事業名	農業経営基盤強化促進対策事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(1) 横芝光町の基幹産業である農業の強化				
			① 持続できる農業の新たな担い手の育成と強化				
		具体的な事業	担い手育成総合支援協議会による法人化や就農相談（継続）				
	掲載ページ	13 頁					
3	事業概要	横芝光町の地域実態に即した農業の担い手の明確化及び共有化を推進し、担い手の経営改善支援に取り組むとともに、担い手の育成・確保に向けた取組を強化し、望ましい農業構造の確立等を図る。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	1. 横芝光町農業担い手育成総合支援協議会活動 60,000円 ・研修会の開催 「農業簿記・経営改善システム講習会」 「農業振興大会講演」 2. 担い手支援策 ・農業経営基盤強化に係る参考図書・パンフレットの配布 6,650円				
		28年度実績	1. 横芝光町農業担い手育成総合支援協議会活動 60,000円 ・研修会の開催等 「農業振興大会講演」 ・農業経営基盤強化に係る参考図書・パンフレットの配布				
		29年度実績	1. 横芝光町農業担い手育成総合支援協議会活動 60,000円 ・研修会の開催等 「農業振興大会講演」 ・農業経営基盤強化に係るパンフレットの配布 2. 担い手支援策 ・農業経営基盤強化に係る参考図書 6,730円				
		30年度実績	1. 横芝光町農業担い手育成総合支援協議会活動 40,000円 ・研修会の開催等 「農業振興大会講演」 ・農業経営基盤強化に係るパンフレットの配布 2. 担い手支援策 ・農業経営基盤強化に係る参考図書 5,600円				
		31年度実績	1. 横芝光町農業担い手育成総合支援協議会活動 20,000円 ・農業経営基盤強化に係るパンフレットの配布 2. 担い手支援策 ・認定農業者等農業経営改善計画作成及び経営強化に対する支援 ・農業経営基盤強化に係る参考図書 2,737円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	67	0	67	0	
		㉑	69	0	60	0	
		㉒	69	0	67	0	
		㉓	49	0	46	0	
		㉔	29	0	23	0	
計	283	0	263	0			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	大規模農家数(認定農業者の法人)【5増加】	目標2	新規就農者【25人増加】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	0	0	0	0	
		㉒	1	0	5	0	
		㉓	1	1	5	7	
		㉔	1	3	5	10	
		㉕	2	1	10	3	
		計	5 経営体	5 経営体	25 人	20 人	
	進捗率	100.00 %	進捗率	80.00 %			
確認方法	法人登記、認定農業者の認定証		就農の実態調査				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	商工会の指導事業と連携を図ること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年6月24日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	関係機関と連携し、事業を推進すべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：事業周知が広く行き届くよう、関係機関が連携し事業を推進すべきである		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	企業誘致促進事業	担当課	産業課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(2) 新しい産業づくりによる雇用の拡大				
			① 新たな企業誘致				
		具体的な事業	企業誘致促進事業（新規）				
掲載ページ	13 頁						
3	事業概要	企業誘致基本計画を策定し、町内に進出する企業に対し、総合的な支援活動を行い、企業誘致を強化する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	・企業誘致専門部会の立上げ（庁内関係各課）				
		29年度実績	・企業誘致専門部会での検討 ・企業誘致に関する関係各部署との情報収集及び情報共有 ・関係機関と連携した企業誘致の推進方法の検討				
		30年度実績	・千葉県商工労働部企業立地課や金融機関等と連携した企業誘致活動 来訪企業4社、訪問企業1社、土地照会企業3社 ・企業誘致促進条例、同条例施行規則公布、企業立地審査委員会要綱公示（平成31年4月1日施行）				
		31年度実績	・千葉県企業立地課、日本立地センター、金融機関、デベロッパー等と連携した企業誘致活動 企業訪問4社、来訪企業8社、土地照会企業7社、企業誘致0社（内定なし） ・内部体制整備、産業立地研修参加、航空写真作成 ・企業誘致用地等登録制度実施要綱公示（令和2年3月19日施行） <主な支出>旅費80,140円、需用費23,532円、委託料429,000円、負担金63,000円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑					
		㉒					
		㉓	223	111 基金	596	298 基金	
		計	223		596	298	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	企業誘致【1社】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒					
		㉓					
		㉔	1社	0			
		計	1社	0社	0件	0件	
			進捗率	0%	進捗率	#DIV/0!%	
		確認方法	企業誘致の実績による				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	進出企業に対する補助制度の創設や誘致可能な箇所について、整理検討を行うべきである
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	空港の機能強化や圏央道とも連携しながら進めていただきたい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	積極的に企業誘致を促進する 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	戦略的に誘致を進めてほしい
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	積極的に企業を誘致する 無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年6月24日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	進出を検討している企業に対し積極的に情報提供を行うべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	積極的に企業を誘致する 無
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	千葉大学COCプラス連携事業			担当課	企画空港課	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(2) 新しい産業づくりによる雇用の拡大				
			② 拠点大学と連携した雇用の拡大				
		具体的な事業	千葉大学COCプラス連携事業（新規）				
掲載ページ	13 頁						
3	事業概要	千葉大学の「COCプラス（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業）」と連携して、地元企業や地域社会とともに、若者に魅力があると思える産業と仕事を創り出し、若者が横芝光町に集積される仕組みを構築する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	横芝光町と千葉大学並びに敬愛大学は、それぞれが有する知見、技術、情報、資源等を活用しながら、地域における雇用創出及び若者定着に結びつく事業に連携・協力して取り組む協定を締結した。 また、千葉大学は、地方創生に積極的に取り組む横芝光町、いすみ市、勝浦市を重点モデル地区に定め、旧光商工会館を無償で借り受け、千葉大学の活動拠点となる「横芝光町ローカルハブ」を整備した。				
		28年度実績	横芝光町シティマネージャー（鈴木/千葉大学准教授）と地域コーディネータが連携し、ローカルハブを活用しながら、千葉大生による町の魅力発信や、町民のタウンマネジメント講座を開催した。 また、町民と千葉大学が共同して、地域資源を活用したニューツーリズムの調査検討を開始し、観光利用と情報発信により新たな産業を形成していく研究に取り組んでいる。 ・調査研究業務委託 1,080,000円				
		29年度実績	町民と千葉大学が共同して「ニューツーリズム」についての調査研究を継続するとともに、ツアー販売実験や会社設立検討を行った。 ・調査研究業務委託 2,160,000円				
		30年度実績	「ニューツーリズム」に関する事業を推進するため、町民と千葉大学が共同して食事会付きのカヤック体験を行いながら、ガイドの育成を図った。 ・調査研究業務委託 999,000円				
		31年度実績	町の空き家等の利活用について方策を検討するため、千葉大学により町の空き家等に関する調査研究を行った。 ・調査研究業務委託料 999,000円				
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)	
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源
		⑳				143	0
		㉑	1,080	0		1,080	0
		㉒	2,160	0		2,160	0
		㉓	1,080	0		999	0
		㉔	1,100	550	基金	999	500
計	5,420	550		5,381	500		
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	新規雇用【50人】		目標2	【 】
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	0	0			
		㉒	0	0			
		㉓	10	1			
		㉔	20	0			
		㉕	20	0			
		計	50 人	1 人	0 件	0 件	
			進捗率	2.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法	COC+実績書類				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績を期待する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年6月24日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	特になし			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	観光企業誘致及び雇用促進事業		担当課	産業課 企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(3) 遊休公共用地の有効活用による観光産業化と雇用の創出				
			① 「こどもの国」跡地の有効活用による観光企業誘致				
		具体的な事業	観光企業誘致及び雇用促進事業（新規）				
	掲載ページ	14 頁					
3	事業概要	地域経済の活性化と雇用促進を図るため、遊休公共用地の有効活用を進めるとともに、観光産業に特化した企業に対し積極的なアプローチを展開し、通年型レジャー施設の誘致による町内観光産業の活性化と宿泊型経営体の連携強化を図る。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	こどもの国跡地利用について、必要な情報を整理した。				
		29年度実績	こどもの国跡地利用について、必要な情報を整理した。				
		30年度実績	こどもの国跡地を含めた町内の土地利用ビジョンの作成にあわせて、企業誘致の方向性を検討した。				
		31年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6月国内最大手アウトドアメーカーの会長と佐藤町長が面談を行い、横芝光町の地域おこしについて協力を要請した。 ・11月同社大阪本社の幹部が横芝光町を視察に訪れ、横芝光IC周辺とこどもの国跡地を視察した。 ・交渉は継続中 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑					
		㉒					
		㉓					
		計	0	0	0	0	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	観光企業の誘致【新規1社】	目標2	新規雇用【25人】	
			計画	実績	計画	実績	
		⑳					
		㉑					
		㉒					
		㉓	1	0	25		
		計	1 社	0 社	25 人	0 人	
			進捗率	0 %	進捗率	0 %	
	確認方法	企業誘致実績		企業への就業調査			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	COC+と連携して進めること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった
			外部有識者からの意見	町全体の遊休地の有効活用も含め進めるべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年6月24日			
事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
外部有識者からの意見	積極的に企業誘致を進めるべき			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のKPI達成に有効であった 意見：活用する土地の立地ポテンシャルを活かして進めるべきである		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 事業内容を精査し、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	雇用促進事業（ミニハローワーク）		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(4) 町内の雇用や起業の促進				
		具体的な事業	① 横芝光町版ミニハローワークの整備				
		掲載ページ	14 頁				
3	事業概要	町内の求人情報に特化した就職支援窓口を設置し、求人と求職のマッチングや就職支援に関連する各種セミナーを開催し、町内雇用の促進を図る。 ハローワーク千葉と連携を図り月1回(第4木曜日)の出張相談会を実施し、広域的な就職を支援する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	横芝光町版ミニハローワーク（出張ハローワーク）の設置検討				
		28年度実績	毎月第4木曜日にハローワーク千葉職員による出張相談を12回開催し、広域的な就職を支援した。町内企業の求人情報を共有し、役場東側ロビーの求人情報コーナーへ掲出することで、町民へ情報を発信した。 <主な支出>・出張相談用電話機設置工事31,320円・求人検索性パソコン賃借料51,084円・消耗品費 9,265円				
		29年度実績	毎月第4木曜日にハローワーク千葉職員による出張相談を12回開催し、広域的な就職を支援した。 2～3月を就職支援強化月間とし、関係機関と連携をとり相談や情報を発信した。 <主な支出>・求人検索性パソコン賃借料 55,728円・消耗品費 9,698円				
		30年度実績	毎月第4木曜日にハローワーク千葉職員による出張相談を開催し、広域的な就職を支援した。 2～3月を就職支援強化月間とし、関係機関と連携をとり相談や情報を発信した。 <主な支出>・求人検索性パソコン賃借料 55,728円・消耗品費 18,743円				
		31年度実績	毎月第4木曜日にハローワーク千葉職員による出張相談を開催し、広域的な就職を支援した。 2～3月を就職支援強化月間とし、関係機関と連携をとり相談や情報を発信した。 <主な支出>・求人検索性パソコン賃借料 56,244円・消耗品費 9,912円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源
		⑳				0	
		㉑	118	118	加速	92	92 加速
		㉒	66	33	推進	66	33 推進
		㉓	66	33	推進	74	33 推進
		㉔	67	33	基金	66	33 基金
計	317	217		298	191		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	採用決定数【15人/年】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒	15	15			
		㉓	15	13			
		㉔	15	3			
		㉕	15	2			
		計	60 人	33 人	0 件	0 件	
			進捗率	55.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	ハローワーク千葉と連携し、採用決定者数等の情報を共有する。 出張相談会利用者へアンケート方式等で追跡調査を実施する。						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	K P I を修正する
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年6月24日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	特になし			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	雇用促進事業（創業支援事業計画の推進）		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(4) 町内の雇用や起業の促進				
			② 包括的創業支援				
		具体的な事業	創業支援事業計画の推進（新規）				
掲載ページ	14 頁						
3	事業概要	創業支援事業計画に基づき、町内への起業や第二次創業を希望する地域密着型企业に対し、関係機関が連携し支援する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	町内に創業予定している者を対象に全4回の創業のための予備知識を学ぶ創業塾を実施する。創業塾に参加することにより、経営・財務・人材育成・販売方法などの基本的な知識を身につけることができる。 ・創業塾の開催 1回（1コース×4講座）講座修了者4人 ・創業支援者数 9件				
		28年度実績	・創業塾の開催 2回（1コース×4講座） → 雇用・創業支援事業補助金480,000円 ・創業支援者数 11件 ・創業者数 4件 ・雇用促進事業補助金要綱の制定 → 該当者（1社1名） 補助金100,000円				
		29年度実績	・創業塾の開催 2回（1コース×4講座） → 雇用・創業支援事業補助金480,000円 ・創業支援者数 10件 ・創業者数 2件 ・雇用促進事業補助金の活用推進 → 該当者（2社2名） 補助金200,000円				
		30年度実績	・創業塾の開催 2回（1コース×4講座） → 雇用・創業支援事業補助金500,000円 ・創業支援者数 10件 ・創業者数 4件 ・雇用促進事業補助金の活用推進 → 該当者（2社2名） 補助金200,000円				
		31年度実績	・創業塾の開催 2回（1コース×4講座） → 雇用・創業支援事業補助金500,000円 ・創業支援者数 10件 ・創業者数 5件 ・雇用促進事業補助金の活用推進 → 該当者（2社2名） 補助金200,000円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑	1,980	1,980	加速	580	580
		㉒	1,980	990	基金	680	340
		㉓	1,000	500	基金	700	350
		㉔	1,000	500	基金	700	350
計	5,960	3,970		2660	1,620		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	創業支援者数【10件/年】	目標2	創業者数【5件/年】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕	4	4			
		㉖	10	11	5	4	
		㉗	10	10	5	2	
		㉘	10	10	5	4	
		㉙	10	10	5	5	
		計	44 件	45 件	20 件	15 件	
	進捗率	102.27% %	進捗率	75.00 %			
確認方法	事業主体の商工会と連携を図り、受講状況・創業状況の把握をする		事業主体の商工会と連携を図り、受講状況・創業状況の把握をする				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	創業塾を活用し、起業者を増やすため、今後も商工会と連携し進める
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	創業相談は増えており、K P I の数値を上方修正すべきか →5「取組実績と今後の予定」を7「K P I」に合わせて修正する
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年6月24日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	関係機関と連携し、事業を推進すべき
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：町外の方が受講されることもあるので、移住施策等と連携して事業を進めるとよい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 事業内容を精査し、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	ジョブカフェ千葉との連携		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する				
		具体的な施策	(4) 町内の雇用や起業の促進				
		具体的な事業	① 横芝光町版ミニハローワークの整備				
		掲載ページ	14 頁				
3	事業概要	広域的な就職相談や、地域若者サポートステーション、ジョブサポートなどと連携して、町内の雇用促進と就職希望者への支援を強化する。 (株)セブン・イレブン-ジャパン、近隣市町と連携しシニア向け仕事説明会を開催する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	ちば若者キャリアセンター ジョブカフェちば、近隣市町と連携を図り、就職を希望する若者を対象とした就活セミナーを開催した。(開催1回(匝瑳市・山武市と3市町):参加者4名)				
		28年度実績	ちば若者キャリアセンター ジョブカフェちば、近隣市町と連携を図り、就職を希望する若者(15～39歳)を対象とした合同就活セミナーを開催した。→ジョブカフェ未開催、シニア向け仕事説明会を開催した。				
		29年度実績	ちば若者キャリアセンタージョブカフェちば、近隣市町と連携を図り、就職を希望する若者(15～39歳)を対象とした合同就活セミナーを開催した。地域若者サポートステーションと連携し若者の就労を支援した。(株)セブン・イレブン-ジャパン、近隣市町と連携しシニア向け仕事説明会を開催した。2～3月を就職支援強化月間とし、関係機関と連携をとり相談や情報を発信した。町内企業の求人情報を共有し、役場東側ロビーの求人情報コーナーへ掲出することで、町民へ情報を発信した。				
		30年度実績	ちば若者キャリアセンタージョブカフェちば、近隣市町と連携を図り、就職を希望する若者(15～39歳)を対象とした合同就活セミナーを開催した。地域若者サポートステーションと連携し若者の就労を支援した。(株)セブン・イレブン-ジャパン、近隣市町と連携しシニア向け仕事説明会を開催した。2～3月を就職支援強化月間とし、商工会などの関係機関と連携をとり相談や情報を発信した。町内企業の求人情報を共有し、役場東側ロビーの求人情報コーナーへ掲出することで、町民へ情報を発信した。				
		31年度実績	千葉県ジョブサポートセンター、近隣市町と連携を図り、再就職セミナーを開催した。地域若者サポートステーションと連携し若者の就労を支援した。(株)セブン・イレブン-ジャパン、近隣市町と連携しシニア向け仕事説明会を開催した。2～3月を就職支援強化月間とし、商工会などの関係機関と連携をとり相談や情報を発信した。町内企業の求人情報を共有し、役場東側ロビーやヨリドコロの求人情報コーナーへ掲出することで、町民へ情報を発信した。ジョブカフェは、参加人数が少なく開催に至らなかった。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑	0	0	0	0	
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	採用決定数【15人/年】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒	15	1			
		㉓	15	14			
		㉔	15	26			
		㉕	15	12			
		計	60 人	53 人	0 件	0 件	
	進捗率	88.33 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	各共催関係者と連携し、説明会等参加者の採用決定者数等の情報を共有する。						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後もハローワークの出張相談会と連携し、若者の雇用を促進する 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	K P I を修正する
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	若者の就労支援は重要である
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年6月24日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	関係機関と連携し、事業を推進すべき
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、今後は雇用促進事業の中で取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	横芝光町産農産物販路開拓モデル事業（創生）			担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	1 産業を振興し安定した雇用を創出する					
		具体的な施策	(5) 特産品販路の新たな試み					
			① 町特産品の販路開拓支援					
		具体的な事業	横芝光町農産物販路開拓モデル事業（新規/先行）					
掲載ページ	15 頁							
3	事業概要	横芝光町産農産物の消費拡大と販路拡大を図るため、東京都内のアンテナショップを活用し、横芝光町産農産物の新鮮・安全安心をPRするとともに、「卸売業者」や「食品会社」、「飲食店」などを対象に産地交流ツアーを開催し新たな販路開拓のため営業活動を行う。 また、積極的にイベント・マルシェに出店するなど、農産物及び横芝光町の積極的なPR活動を行う。						
4	事業年度	平成27年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	横芝光町産農産物販路開拓モデル事業業務委託 4,212,000円 マイファーマー世田谷店物件一時使用賃貸借契約 518,400円 （販売実績） アンテナショップ マイファーマー世田谷店 1,278,323円 飲食店等業者 10,040,347円		契約合計：4,730,400円	実績合計：11,318,670円		
		28年度実績	横芝光町産農産物販路開拓モデル事業業務委託 5,016,800円 「マイファーマー世田谷店」及び「坂ノ途中Soilキョードー」物件一時使用賃貸借契約 432,000円 （販売実績） アンテナショップ 「マイファーマー世田谷店」ほか 3,065,660円 飲食店等業者 17,727,876円		契約合計：5,448,800円	実績合計：20,793,536円		
		29年度実績	横芝光町産農産物販路開拓モデル事業業務委託 5,000,400円 「坂ノ途中Soilキョードー」物件一時使用賃貸借契約 518,000円 （販売実績） アンテナショップ 「坂ノ途中Soilキョードー」 1,987,379円 飲食店等業者 21,447,851円		契約合計：5,518,800円	実績合計：23,435,230円		
		30年度実績	横芝光町産農産物販路開拓モデル事業業務委託 5,000,400円 （販売実績） 飲食店等業者 24,631,222円		契約合計：5,000,400円	実績合計：24,631,222円		
		31年度実績	横芝光町産農産物販路開拓モデル事業業務委託 930,500円 （販売実績） 飲食店等業者 26,337,201円 プロ向け産地交流ツアー開催：年2回 販促イベントへの参加：年1回 横芝光町地域商社設立協議会を設立。		契約合計：930,500円	実績合計：26,337,201円		
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳	4,731	4,731	先行	4,731	4,731	先行
		㉑	5,574	5,574	加速	5,472	5,449	加速
		㉒	5,558	2,519	推進	5,527	2,763	推進等
		㉓	5,039	2,501	推進	5,010	2,500	推進
		㉔	1,245	622	基金	931	608	基金
		計	22,147	15,947		21,671	16,051	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	新たな販路開拓による雇用の増加【10人】	目標2	新たな特産品開発商品数【3品】		
			計画	実績	計画	実績		
		㉑	0	0	0	0		
		㉒	0	0	0	0		
		㉓	0	0	0	0		
		㉔	5	0	3	2		
		㉕	5	0	0	0		
		計	10 人	0 人	3 品	2 品		
			進捗率	0 %	進捗率	66.67 %		
		確認方法	プロ向け産地ツアーにより町内に作業場等を建設した場合において、雇用の契約等がわかる関係書類		開発した際に、それに伴う契約等の関係書類の確認			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月22日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	アンテナショップの出店箇所については、幅広く調査分析を行うこと 新たな特産品の開発会議は、早目に準備と検討を開始すること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	追加等更に発展させる
			今後の方針の理由	販売目標を上回る新規取引があったため、農の雇用につながる取組へ、 今後も事業を拡大させていく（加速化交付金採択済/推進交付金申請中）
		計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月19日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	先進・優良事例を参考に事業を進めてほしい
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年6月24日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	特になし		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：地域での地産地消をより推進し進めていただきたい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 事業内容を精査し、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	移住定住促進事業			担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる					
		具体的な施策	(1) 町外からの移住受入れの強化					
			① 移住・定住に係る受入体制の整備と情報発信					
		具体的な事業	移住定住総合サポートセンター事業（新規）					
掲載ページ	17 頁							
3	事業概要	町内への移住定住を促進するため、移住・定住に係る情報の一元化やホームページの開設、（仮称）移住定住総合サポートセンターによるワンストップ相談窓口の整備など、受入体制の整備と情報発信を進める。						
4	事業年度	平成27年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 移住定住PTによる、移住定住推進事業のフレームワーク案と官民連携推進体制案の検討 ・PT会議の開催（4回/報酬140,400円、お茶代2,640円）					
		28年度実績	人口減少を克服するためには転入者を増やす必要があり、新たに移住定住対策の取り組みを強化した。 ・横芝光町移住・定住推進協議会を設置(1回/報酬21,600円) ・移住定住促進プログラムの検討 ・移住相談用のぼり作成(10本 28,080円)					
		29年度実績	移住定住対策の取り組みを構築するため、地方創生加速化交付金と連携した横芝駅前情報交流館内に移住定住サポートセンターの開設準備を行った。 ・移住相談会への出展 2回/年(旅費12,960円)(ブース使用料32,940円) ・パンフレットの作成(印刷製本116,640円)・移住定住サポートセンター開設準備					
		30年度実績	横芝駅前情報交流館内に移住定住サポートセンターを設置及び移住定住相談員を配置し、相談体制を充実させた。また、移住定住促進としてイベントの開催及び関連イベントにおいて移住相談を行い、県内外の移住希望者へのPRも併せて行った。 ・移住定住ウェブサイト（HP）制作 4,698,000円 ・移住促進協議会報償（年2回開催）64,800円 ・移住定住サポートセンター業務委託 3,148,200円 ・移住定住促進事業旅費10,960円					
		31年度実績	横芝駅前情報交流館内に設置している移住定住サポートセンターに移住定住相談員を配置し、移住相談体制の充実を継続させた。また、移住定住促進を兼ねた交流館でのイベントの開催や関連イベントへの参加により町PRを行った。 ・移住定住ウェブサイト（HP）の充実 2,066,000円 ・移住定住サポートセンター業務委託 2,161,956円 ・移住相談会への出展 3回/年 11,700円（旅費）					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳	143	0		143	0	
		㉑	3,703	1,852	推進	50	25	推進
		㉒	7,065	3,513	推進	163	75	推進
		㉓	9,911	4,955	推進	7,922	3,956	推進
		㉔	5,789	2,894	基金	4,240	1,935	基金
計	26,611	13,214		12,518	5,991			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	サポートC利用移住者【50人】	目標2	移住定住相談件数【500件】		
			計画	実績	計画	実績		
		㉑	0	0	0	0		
		㉒	2	0	20	3		
		㉓	8	0	80	13		
		㉔	15	5	150	75		
		㉕	25	15	250	73		
		計	50 人	20 人	500 件	164 件		
進捗率		40.00 %	進捗率	32.80 %				
確認方法	移住者サポート台帳の集計			相談台帳の集計				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	全国移住ナビの活用を検討すること 魅力的な体験プログラムを開発すること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	空家施策との連携 町が空家を買って移住体験などに活用してはどうか
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	空き家対策や相談業務など、連携を図り進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	移住定住サポートセンターをPRし、事業の充実を図るべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	移住者のカウント方法について再度確認
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	創生プロモーション事業	担当課	企画空港課				
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる					
		具体的な施策	(2) 積極的な町の魅力発信による認知度の向上					
		具体的な事業	① 居住地として選ばれる横芝光町プロモーション					
		掲載ページ	17 頁					
3	事業概要	横芝光町を愛し、住みたい人の増加を図るため、町の持つ優れた自然環境や地域資源を町民に再認識してもらうとともに、県内外にこれらの魅力を積極的にPRする。また町の認知度の向上を図るための「横芝光町創生プロモーションビデオ」を作成し、居住地として「選ばれる町」の情報発信を世界に向けて行う。						
4	事業年度	平成27年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	YouTube上に横芝光町公式動画チャンネルを開設 町ホームページ用に動画公開用のカラーセルを作成 170,100円 「横芝光町創生プロモーションビデオ」の作成業務委託料 5,940,000円（動画9本） プロモーションビデオ作成用スマイル写真募集用ポスター及びチラシ作成 45,360円					
		28年度実績	「横芝光町創生プロモーションビデオ」の配信 4月28日から配信実施 配信周知スキーム確立：町広報紙での紹介、町HPからのカラーセルによるPR、町内外PR用チラシの配布、町内外イベント等での周知					
		29年度実績	町内外PR用チラシの配布、町PRポスター、町内外イベント等で周知を図った。					
		30年度実績	町内外PR用チラシの配布、町内外イベント等での周知した結果、移住定住相談件数の増加に繋がった。					
		31年度実績	移住定住サイトからの視聴リンクを作成し、視聴数の増加を図ったが、視聴実績は前年度を下回った。今後は、動画の視聴状況を分析し、内容について再検討したい。					
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)			
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳	6,155	6,155	先行	6,155	6,155	先行
		㉑	0	0		0	0	
		㉒	0	0		0	0	
		㉓	0	0		0	0	
		計	6,155	6,155		6,155	6,155	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	視聴数【50,000pv】		目標2	移住定住相談件数【500件】	
			計画	実績		計画	実績	
		㉑	0	0		0	0	
		㉒	15,000	1,617		20	3	
		㉓	15,000	2,419		80	13	
		㉔	10,000	5,163		150	75	
		㉕	10,000	4,823		250	73	
		計	50,000 PV	14,022 PV		500 件	164 件	
			進捗率	28.04 %		進捗率	32.80 %	
確認方法	YouTube上の各動画の視聴回数合計			相談台帳の集計 サポート事業と実績連携				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	随意契約で作成されたが、今後は開かれた契約により経費節減を図る
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	移住定住施策と連携しながらP R事業を展開し、P V視聴者数を増やす 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	P R不足である。プロモーションにもっと力を入れるべき 町の広報写真を統一するなど、ブランディングにより一体的なP Rを検討すべきである
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	広報活動を強化する 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	積極的にP Rすべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	積極的に情報を発信する 無
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	特になし		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり事業を進める 無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：SNS活用研修会があるとよい。また、まちナビ2の運用開始については周知が必要である。		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	町の空き地有効活用事業	担当課	財政課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる				
		具体的な施策	(3) 若い世代に魅力のある住宅地づくり				
			① まとまりのある公共用地の再開発				
		具体的な事業	町の空き地有効活用事業（新規/先行）				
掲載ページ	18 頁						
3	事業概要	駅、学校に近く、市街地にある遊休公共用地に、新たな価値を生み出しながら、魅力ある住宅地として再開発し、定住促進を図るための利活用計画を作成する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	遊休町有地（約1.9ha）を有効活用するため、定住促進と雇用創出を図る活用計画を作成し、地元調整を踏まえて活用構想（案）を作成した。 ・方針検討調査（一式） 5,616,000円 ・地元説明会時お茶（2回） 5,280円 ・企業情報収集（一式） 987,768円				
		28年度実績	雇用創出ゾーンへの進出予定企業（社会福祉法人）決定				
		29年度実績	雇用増出ゾーン進出予定企業（社会福祉法人）による社会福祉施設の建設				
		30年度実績	雇用増出ゾーン進出予定企業（社会福祉法人）による社会福祉施設の建設 移住定住住宅の宅地・緑地・公園ゾーン整備方針の検討 町道及び側溝の整備				
		31年度実績	移住定住住宅の宅地・緑地・公園ゾーン整備方針の検討				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	6,609	6,609	6,609	6,609	先行
		㉑	0	0	0	0	
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		計	6,609	6,609	6,609	6,609	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	定住世帯【50世帯】	目標2	企業誘致【1社】	
			計画	実績	計画	実績	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	0	0	1	1	
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		計	0 世帯	0 世帯	1 社	1 社	
			進捗率	#DIV/0! %	進捗率	100.00 %	
確認方法	現地確認等		公募による応札				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	企業誘致は町内雇用の発生に結び付ける 事業概要の「ショッピングセンター」を削除する
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	活用計画により企業誘致と宅地分譲を開始する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	町全体の遊休地の有効活用も含め進めるべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	空家の更なる利用促進を図るべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業の内容を見直し、新たな取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	若者の出会い創出事業	担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(1) 若い世代の出会いの場づくり				
			① 若者が気軽に参加できるイベントの開催				
		具体的な事業	若者の出会い創出事業（新規）				
掲載ページ	20 頁						
3	事業概要	未婚化・晩婚化が少子化要因の一つとなっていることから、結婚適齢期の男女が気軽に参加でき、友達づくりから始められるような、地域資源を活用したイベントを開催し、出会いの場を創出する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	実行委員会委員の募集（5名）				
		28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の立ち上げ ・事業計画を策定し、事業を実施 ※事業内容は実行委員会において企画し実施した。（3回実施） ・婚活セミナー&プチ交流会（1回目：12月開催 in町図書館 参加者：18名） ・婚活セミナー&プチパーティ（2回目：2月開催 in NANじゃ MONじゃ 参加者：16名） ・婚活民間企業とのコラボレーションパーティー（3回目：3月開催 inマリーノ（蓮沼） 参加者：47名） ・実行委員会への補助金1,022,616円 				
		29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を策定し、事業を実施 ※事業内容は実行委員会において企画し実施した。（3回実施） ・婚活支援者向けセミナー&座談会（1回目：12月開催 in町庁舎 参加者：9名） ・縁結びバスツアー（2回目：1月開催 inドイツ村 参加者：37名） ・栗山川カヌー&BBQイベント（3回目：3月開催 inNANじゃ MONじゃ 参加者：8名） ・実行委員会への補助金 797,738円 				
		30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を策定し、事業を実施 ※事業内容は実行委員会において企画し実施した。（2回実施） ・クリスマスケーキ作り婚活パーティー（1回目：12月開催 in NANじゃMONじゃ 参加者14名） ・ピザ&パエリア作り婚活パーティー（2回目： in NANじゃMONじゃ 参加者26名） ・実行委員会への補助金 208,287円 				
		31年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を策定し、事業を実施 ※事業内容は実行委員会において企画し実施する。（1回実施） ・花火De恋活!!真夏のBBQパーティー （1回目：7月27日開催 in 料理の宿ニュー太洋 参加者男7人 女6人） <p>※2回目のイベントを令和2年3月7日に企画するも、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、会場である横芝光町民会館が2月29日（土）から3月13日（金）まで休館となったことから、イベント中止となる。</p>				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑	1,360	680 基金	1,023	511 基金	
		㉒	1,250	620 基金	798	375 基金	
		㉓	1,200	600 基金	208	104 基金	
		㉔	500	250 基金	74	37 基金	
計	4,310	2,150	2,103	1,027			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	年間結婚数【100件/年】	目標2	参加者数【100人/年】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕		82			
		㉖	100	73	100	81	
		㉗	100	83	100	54	
		㉘	100	50	100	40	
		㉙	100	毎年11月に公表	100	13	
		計	400 件	288 件	400 人	188 人	
確認方法	人口動態統計により把握(人口千人当たり)						
	進捗率	72 %	進捗率	47 %			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
			外部有識者からの意見	KPIが重すぎる、町内の参加が少ないなど再考が必要 グリーンツーリズムとの融合など体験や少人数など検討の余地あり 他の事業と連携を図る
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	新たな企画を検討し、町民参加を増やす。今後も参加者が少なければ、事業の廃止を含めて検討する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
			外部有識者からの意見	事業内容（事業名称：イベント名称）を見直し、出会い（友達づくり）から始められるようなイベントを実施してはどうか
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	町民参加者が増えるように事業内容を工夫する。今後も参加者が少なければ事業を縮小し31年度で廃止			
計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない		
	外部有識者からの意見	参加資格を緩和し、また婚活という表現も別の言い方に置き換え柔らかくするなど改善を図ること		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	中止		
	今後の方針の理由	参加者が少ないため31年度で廃止（中止）		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 参加者数が少なく事業として成り立たないため、取り組みを中止する		

1	予算事業名	保育料の負担軽減事業		担当課	健康こども課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる					
		具体的な施策	(2) 子育てに係る経済的支援					
			① 保育料の負担軽減					
		具体的な事業	保育料の負担軽減事業（継続）					
掲載ページ	20 頁							
3	事業概要	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育に係る個人負担を軽減し、子育て環境において選ばれる町を目指す。						
4	事業年度	平成27年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、国が定める保育所保育料基準額の1/2を町負担で、現状の個人負担軽減を継続。					
		28年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続。 国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、本年度から無料。					
		29年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続。 国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。					
		30年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。 国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。					
		31年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。 国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。 (国が定める制度変更(元年度10月開始)の動向により、町独自の個人負担軽減を検討する。)					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳	459,684	313,085	国県他	459,797	313,152	国県他
		㉑	518,792	297,545	国県他	482,420	341,399	国県他
		㉒	517,448	361,702	国県他	530,705	385,176	国県他
		㉓	683,478	491,498	国県他	568,711	405,816	国県他
		㉔	675,559	468,796	国県他	602,145	430,981	国県他
計	2,854,961	1,932,626		2,643,778	1,876,524			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】		目標2	【 】	
			計画	実績		計画	実績	
		⑳	58.30%	58.30%				
		㉑	60.00%	74.80%				
		㉒						
		㉓						
		㉔	65.00%	63.60%				
		計	65.00 %	63.6 %		0 件	0 件	
	進捗率	98 %		進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	27は創生アンケート 28は総合計画アンケート 31は創生アンケート							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	保育料の個人負担軽減を、町内外に広く広報すべきである
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	少子化対策に有効である
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	県下でも安い保育料を今後も維持していただきたい 新たな認定こども園についても同じように軽減していただきたい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	少子化対策に有効である
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	少子化対策に有効である
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	給食費分の無償化、また0~2歳児の保育料の無償化も視野に入れる
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	子ども医療費・児童医療費助成事業	担当課	健康こども課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(2) 子育てに係る経済的支援				
			② 0歳から高校3年生までの医療費無料化				
		具体的な事業	子ども医療費・児童医療費助成事業（継続）				
掲載ページ	20 頁						
3	事業概要	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。横芝光町では平成27年度から他市町に先立ち高校3年生までを無料化しており、今後も制度を継続し、子育て施策の充実を図る。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成。 今後も他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続。				
		28年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成。 今後も他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続。				
		29年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成。 今後も他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続。				
		30年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成。 今後も他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続。				
		31年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成。 今後も他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	92,556	28,355 国・県	93,959	28,355 国・県	
		㉑	89,245	21,253 国・県	93,650	28,525 国・県	
		㉒	91,303	21,374 国・県	95,729	25,146 国・県	
		㉓	89,500	21,300 国・県	90,972	23,937 国・県	
		㉔	88,820	23,010 国・県	86,796	23,837 国・県	
計	451,424	115,292	461,106	129,800			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	58.30%	58.30%			
		㉒	60.00%	74.80%			
		㉓					
		㉔	65.00%	63.60%			
		計	65.00 %	63.6 %	0 件	0 件	
			進捗率	98 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	27は創生アンケート 28は総合計画アンケート 31は創生アンケート						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	少子化対策に有効である
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	少子化対策に有効である
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	事業のPRを積極的にするべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	将来的には高校生の現物給付も検討
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見；特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	子育て支援事業（創生）		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(2) 子育てに係る経済的支援				
			③ 子育て日用品の助成				
		具体的な事業	子育て支援事業（子育て日用品助成券の支給）（新規）				
掲載ページ	20 頁						
3	事業概要	乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品購入費の助成を行うことにより、子育て世帯の経済的負担を軽減する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	制度について調査検討				
		28年度実績	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券用紙等購入 24,840円 ・助成券支給 @1,000円/月×1,836枚 271人				
		29年度実績	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券用紙等購入 0円 ・助成券支給 @1,000円/月×1,497枚 148人				
		30年度実績	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券用紙等購入 27,000円 ・助成券支給 @1,000円/月×1,199枚 122人				
		31年度実績	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券用紙等購入 29,000円 ・助成券支給 @1,000円/月×1,184枚 113人				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	1,829	0	1,861	894	基金
		㉒	1,829	914	1,497	749	基金
		㉓	1,829	914	1,226	508	基金
		㉔	1,712	856	1,184	527	基金
計	7,199	2,684	5,768	2,678			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2	0歳児人口【688人】	
			計画	実績	計画(推計)	実績	
		⑳	58.30%	58.30%	143	137	
		㉑	60.00%	74.80%	141	158	
		㉒			138	127	
		㉓			134	105	
		㉔	65.00%	63.60%	132	101	
		計	65.00 %	63.6 %	688 人	628 人	
			進捗率	98 %	進捗率	91.28 %	
確認方法	27は創生アンケート 28は総合計画アンケート 31は創生アンケート		計画(推計)：子ども・子育て支援事業計画 実績：住民基本台帳人口(各年度末現在)				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	子育て支援は他の町より手厚く実施していることをPRすべきである
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	事業のPRを積極的にするべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	子育て用品リサイクル事業（創生）		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(2) 子育てに係る経済的支援				
		具体的な事業	④ 子育て用品リサイクルのネットワーク化				
		掲載ページ	子育て用品リサイクル事業（新規） 20 頁				
3	事業概要	ベビー用品などの子育て用品は再利用可能なものが多いにもかかわらず処分されてしまう「もったいない」現状から、リサイクルできる子育て用品をネットワークで結び、再利用できる仕組みを構築する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	制度について調査検討				
		28年度実績	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築。 ◎プラムのロビーに譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し周知。 ・事業周知用チラシ作製用紙購入 0円 ・掲示用備品購入費 71,031円				
		29年度実績	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築。 ◎プラムのロビーに譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し周知。 ・事業周知用チラシ作製用紙購入 0円				
		30年度実績	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築する。 ◎プラムのロビーに譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し、周知。 ・事業周知用チラシ作製用紙購入 1,691円				
		31年度実績	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築する。 ◎プラムのロビーに譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し、周知。 ・事業周知用チラシ作製用紙購入 0円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	76	0	72	36	基金
		㉒	2	1	0	0	基金
		㉓	2	1	2	1	基金
		計	80	2	74	37	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標2	リサイクル品の譲渡成立件数【1件/年】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	58.30%	58.30%	—	—	
		㉒	60.00%	74.80%	1	0	
		㉓			1	0	
		㉔	65.00%	63.60%	1	2	
		計	65.00 %	63.6 %	4 件	2 件	
			進捗率	98 %	進捗率	50.00 %	
確認方法	27は創生アンケート 28は総合計画アンケート 31は創生アンケート			管理台帳			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	衛生面の配慮が必要である
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	良い制度だか利用者が少ないので、公共施設や保育園や幼稚園にも広報していただきたい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	周知方法を改善しながら、活用動向をみる 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	事業のPRを積極的にするべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	周知方法を改善し、PRを強化する 無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	産婦人科においても周知いただけるよう依頼すべき
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	改善		
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	周知方法を改善し、PRを強化する 無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：事業の周知強化が必要である		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	不妊治療費助成事業（創生）		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(3) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援				
		具体的な事業	① 不妊治療費の助成				
		掲載ページ	21 頁				
3	事業概要	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成し、子どもが欲しい世帯の希望をかなえ、経済的負担の軽減を図るとともに、不妊に関する相談等、総合的な支援体制の強化を図る。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	制度について調査検討				
		28年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成。 ・事業周知用紙等消耗品 2,000円 ・不妊治療費助成金 @100,000円×年6件=514,050円 (1件あたり、100,000円を上限額とし助成。)				
		29年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成。 実績 不妊治療費助成金 @100,000円×年4件(4人)=400,000円				
		30年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成。 ・事業周知用紙等消耗品 1,691円 ・不妊治療費助成金 7件 @100,000円×6件+@70,000円×1件=670,000円 (1件あたり、100,000円を上限額とし助成。)				
		31年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する。 ・事業周知用紙等消耗品 1,691円 ・不妊治療費助成金 8件(7人) @100,000円×年5件+@87,000円×1件+@19,000円×1件+@81,000円×1件=687,000円 (1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。)				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑	2,002		515	257	基金
		㉒	1,202	601	400	200	基金
		㉓	1,002	501	672	336	基金
		㉔	802	401	689	344	基金
計	5,008	1,503	2276	1,137			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	母子健康手帳の交付人数【150人/年】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕					
		㉖	150	134			
		㉗	150	132			
		㉘	150	115			
		㉙	150	113			
		計	600 人/5年	494 人/5年	0 件	0 件	
	進捗率	82.33 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法	母子健康手帳交付者数					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：必要な取り組みであるため、継続して取り組んでいただきたい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	エンゼルヘルパー派遣事業（創生）		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(3) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援				
			② 妊娠・出産期の支援				
		具体的な事業	エンゼルヘルパー派遣事業（新規）				
掲載ページ	21 頁						
3	事業概要	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行を主とするエンゼルヘルパー派遣サービスを新たに提供し、安心して育児ができる環境を整える。また、出産後の母親の体や心のケアのため産後ケアの充実を図り、女性の健康を支援する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	制度について調査検討				
		28年度実績	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供。 ・事業周知用紙等消耗品 0円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 @1,000円/h×7時間				
		29年度実績	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供。 ・事業周知用紙等消耗品 0円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 実績 0円（0件）（@1,000円/h×0時間）				
		30年度実績	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供する。 ・事業周知用紙等消耗品 1,691円（周知用カラー用紙購入） ・エンゼルヘルパー派遣委託料 実績 0円（0件）（@1,120円/h×0時間）				
		31年度実績	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供する。 ・事業周知用紙等消耗品 0円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 実績 0円（0件）（@1,120円/h×0時間）				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源
		⑳					
		㉑	602			7	4 基金
		㉒	482	241	基金	0	0
		㉓	158	79	基金	2	1 基金
		㉔	122	61	基金	0	0
計	1,364	381		9	5		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	母子健康手帳の交付人数【150人】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒	150	134			
		㉓	150	132			
		㉔	150	115			
		㉕	150	113			
		計	600 人/5年	494 人/5年	0 件	0 件	
	進捗率	82.33 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	母子健康手帳交付者数						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	個人負担の無料化について検討する
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	良い制度だが、抵抗がある人もいる 産後うつ等にも有効であるため、P R を続けていく
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	実績はないが、必要な事業である
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年7月1日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	必要な事業であるため、周知方法等について徹底して検証すべき			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	改善		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	母子保健事業	担当課	健康こども課
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3	若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる。
		具体的な施策	(3)	妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援
			③	子育て支援・母子保健事業の充実
		具体的な事業	パパママ教室、さくらんぼクラブ、乳幼児健診、子育て相談、言葉の教室、歯科保健事業（継続）	
	掲載ページ	21	頁	
3	事業概要	健康教育：パパママ教室（両親学級）、さくらんぼCLUB（子育て教室）、おやこクッキング 乳幼児健診：乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診、5歳児健診 乳幼児健康相談：子育て相談、言葉の教室、巡回相談、健康相談 歯科保健事業：よい歯びかびかキッズ健康相談、2歳児歯科健診、よい歯のコンクール		
4	事業年度	平成27年度～平成31年度		
5	取組実績と今後	27年度実績	①パパママ教室4回実人数：妊婦37人夫14人、延人数：妊婦54人、夫15人、さくらんぼCLUB11回実86組、延199組（126,313円） ②乳児健診6回対象134受診128 受診率96%（355,792円） ③1歳6か月児健診6回対象165受診160 受診率97.0%（649,004円） ④3歳児健診6回対象176受診167 受診率95%（782,604円） ⑤5歳児健診5日（10回）対象148 受診145 受診率98%（698,949円） ⑥子育て相談22回実人数48延83、言葉の教室143回実人数65延506、巡回相談20回実212 延443（2,516,149円） ⑦よい歯びかびかキッズ健康相談12回対象148延124受診率83.8%、2歳児歯科健診6回対象159受診127受診率80.9% よい歯のコンクール1回親子7組（492,582円） ⑧定期健康相談12回 母子分 実131組 延525組（150,683円） ⑨おやこクッキング1回 小学生親子17組42人（食生活改善協議会委託補助金 支出なし） 【①～⑨の合計 5,772,076円】	
		28年度実績	①パパママ教室3回実人数：妊婦25人夫7人、延人数：妊婦33人、夫8人、さくらんぼCLUB11回実59組、延133組（75,185円） ②乳児健診6回対象147受診144 受診率98%（380,610円） ③1歳6か月児健診6回対象152受診150 受診率98.7%（623,323円） ④3歳児健診6回対象147受診134 受診率91.2%（549,169円） ⑤5歳児健診5日（10回）対象170 受診168 受診率98.8%（912,375円） ⑥子育て相談36回 実人数42延70、言葉の教室149回実人数65延505、巡回相談20回実255延262（2,534,586円） ⑦よい歯びかびかキッズ健康相談12回対象142延108受診率76.1%、2歳児歯科健診6回対象163受診148受診率90.8% よい歯のコンクール1回親子7組（480,335円） ⑧定期健康相談12回 母子分 実130組 延463組（119,818円） ⑨おやこクッキング3回 小学生親子26組59人（食生活改善協議会委託補助金 支出なし） 【①～⑨の合計5,675,401円】	
		29年度実績	1 事業実績 ①パパママ教室3回実人数：妊婦20人夫8人、延人数：妊婦33人、夫8人、さくらんぼCLUB11回実48組、延137組（102,553円） ②乳児健診6回対象138受診137 受診率99.3%（379,959円） ③1歳6か月児健診6回対象150受診152 受診率95.3%（655,457円） ④3歳児健診6回対象173受診166受診率96.0%（813,306円） ⑤5歳児健診5日（10回）対象158 受診155 受診率98.1%（967,400円） ⑥子育て相談41回実人数58延100、言葉の教室139回実人数54延466、巡回相談20回実236延452（2,498,366円） ⑦よい歯びかびかキッズ健康相談12回対象153延130受診率85.0%、2歳児歯科健診6回対象149受診133受診率89.3% よい歯のコンクール1回親子4組（478,711円） ⑧定期健康相談12回 母子分 実109組 延433組（156,934円） ⑨おやこクッキング3回 小学生親子30組89人（食生活改善協議会委託補助金 支出なし） 【①～⑨の合計6,052,686円】 2. 保健師による妊娠届時の面接から支援の必要な妊婦を把握するアセスメントツールを作成 ハイリスク妊婦の抽出11名（29年12月末）、特定妊婦3名（29年12月末） 3. 親の育児行動（歯・栄養等）や育児ストレスを支援するため1歳2か月児相談の相談支援を充実 4. 子育て世代包括支援センター設置（2020年度）に向け改修設計費用の予算化を実施（497千円）	

の 予 定	30年度実績	<p>1 事業実績</p> <p>①パパママ教室3回 実人数：妊婦20人夫8人、延べ人数は実人数に同じ。 さくらんぼクラブ11回 実人数：産婦35人妊婦1人、延べ人数：産婦103人、妊婦4人 (98,623円)</p> <p>②乳児健診6回 対象114人、受診110人 受診率96.5% (371,952円)</p> <p>③1歳6か月児健診6回 対象146人、受診146人 受診率100.0% (643,124円)</p> <p>④3歳児健診6回 対象165人、受診156人 受診率94.5% (774,065円)</p> <p>⑤5歳児健診5回 対象168人、受診162人 受診率96.4% (915,239円)</p> <p>⑥子育て相談28回 実人数45人、延べ74人、 言葉の教室144回 実人数47人、延べ383人、 巡回相談 20回 実人数201人、延べ369人 (2,311,404円)</p> <p>⑦よい歯びかびかキッズ(1歳2か月児相談)12回 対象142人、延べ128人 受診率90.1%、 2歳児歯科健診5回 対象148人、受診123人、受診率83.1% よい歯のコンクール1回 親子5組 (487,493円)</p> <p>⑧定期健康相談12回 母子分 実組数96組 延べ343組 (97,084円)</p> <p>⑨おやこの食育教室：2小学校各1回ずつ計21組51人、おやこクッキング：1回小学生親子13組31人(食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし) 【①～⑨の合計5,698,984円】</p> <p>2. 保健師による妊娠届時の面接から支援の必要な妊婦を把握するアセスメントツールを作成 ハイリスク妊婦の抽出11人(31年3月末)、特定妊婦4人(31年3月末)</p> <p>3. 親の育児行動支援(歯・栄養等)や育児ストレスを軽減するため、1歳2か月児相談における相談支援充実を継続実施</p> <p>4. 子育て世代包括支援センター開設(令和2年度)に伴うプレイルーム改修設計委託(496,800円)</p>						
	31年度実績	<p>1 事業実績</p> <p>①ウェルカムベビークラス3回 実人数：妊婦14人夫2人、延べ人数は実人数に同じ。 さくらんぼクラブ10回(3月中止)実人数：産婦37人妊婦0人、延べ人数：産婦94人、妊婦0人 (82,674円)</p> <p>②乳児健診6回 対象108人、受診105人 受診率97.2% (370,803円)</p> <p>③1歳6か月児健診6回 対象134人、受診127人 受診率94.8% (669,782円)</p> <p>④3歳児健診6回 対象149人、受診135人 受診率90.6% (763,076円)</p> <p>⑤5歳児健診3回 対象157人、受診155人 受診率98.7% (595,552円)</p> <p>⑥子育て相談38回 実人数40人、延べ67人、 言葉の教室137回 実人数57人、延べ420人、 巡回相談 20回 実人数223人、延べ421人 (2,387,967円)</p> <p>⑦よい歯びかびかキッズ(1歳2か月児相談)11回(3月中止)対象102人、延べ91人 受診率89.2%、 2歳児歯科健診5回 対象156人、受診130人、受診率83.3% よい歯のコンクール1回 親子8組 (483,261円)</p> <p>⑧定期健康相談11回(3月中止) 母子分 実組数81組 延べ308組 (132,090円)</p> <p>⑨おやこの食育教室：東陽小学校計14組29人、おやこクッキング：2回小学生親子14組31人(食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし) 【①～⑨の合計5,485,205円】</p> <p>2. 保健師による妊娠届時の面接から支援の必要な妊婦を把握するアセスメントツールの使用 ハイリスク妊婦の抽出4人(R2年3月末)、特定妊婦5人(R2年3月末)</p> <p>3. 親の育児行動支援(歯・栄養等)や育児ストレスを軽減するため、1歳2か月児相談における相談支援充実を継続実施</p> <p>4. 子育て世代包括支援センターの令和2年度開設に伴う健康づくりセンター・プレイルーム改修工事、監理業務委託、付帯設備の設置及び備品購入等の諸準備(8,890,860円)</p>						
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳	5,772	126	基金	5,772	126	基金
		㉑	5,675	29	基金	5,675	12	基金
		㉒	6,616	51	基金	6,052	46	基金
		㉓	6,788	542	基金	6,196	537	基金
		㉔	17,472	3,376	基金他	14,376	3,372	基金他
計	42,323	4,124		38,071	4,093			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	母子健康手帳の交付人数【150人/年】	目標2	【 】		
			計画	実績	計画	実績		
		㉕	150	151				
		㉖	150	134				
		㉗	150	132				
		㉘	150	115				
		㉙	150	113				
		計	750	645	人/5年	0	0	件 件
進捗率		86.00%	%	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	母子健康手帳交付者数(毎年度)							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	産後ケアの充実について検討してほしい
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	子育て支援の充実のため、今後も継続する
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	産後ケアなど民間の取組や支援センターの取組など、連携して協力していきたい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	子育て支援の充実のため、今後も継続する
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	産後ケアの充実について検討すべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	教育補助事業	担当課	教育課 (社会文化課)				
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3	若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(4)	教育振興と子育ての連携				
			①	中学生の学習活動をサポート				
		具体的な事業	教育補助事業～苦手克服大作戦！～（新規）					
掲載ページ	22 頁							
3	事業概要	中学生の自主的な学習活動をサポートするため、町民会館を利用した教育補助事業を展開し、生徒の学力向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減させ、充実した教育環境と子育ての町をアピールする。						
4	事業年度	平成28年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	事業内容について調査検討					
		28年度実績	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポート。 ・日時 7月21日～8月26日の火曜日～土曜日(祝日を除く)午前:9時～12時 午後:13時～16時 ・経費 講師謝礼 582,000円(1,000円/時間) 講師昼食代 78,160円 ・参加者 申込数 43名 延べ163名(6.3名/日) ・講師 7名(元教員3名・非常勤講師1名・塾講師2名・大学生1名)交代で勤務					
		29年度実績	教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポート。 ・日時 7月21日～8月26日の火曜日～土曜日(祝日を除く)午前:9時～12時 午後:13時～16時 ・講師謝礼 1,700円×6時間×4人×26日=1,060,800円 ・講師お茶 108円×4人×26日=11,232円					
		30年度実績	平成30年度より教育課で実施 教育環境を整えることにより、移住・定住の促進を図る。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートする。 ・日時 7月21日～8月25日の火曜日～土曜日(祝日を除く)午前:9時～12時 午後:13時～16時 ・講師謝礼 1,450円×6時間×(4or3)人×23日=769,950円 ※台風による休講及び講師人数が3人の日があった。					
		31年度実績	平成30年度より教育課で実施 教育環境を整えることにより、移住・定住の促進を図る。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートする。 ・日時 7月22日～8月23日の月曜日～金曜日(祝日を除く)午前:9時～12時 午後:13時～16時 ・講師謝礼 1,450円×6時間×(4or3)人×24日=793,150円					
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)			
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳						
		㉑	1,208			661	330	基金
		㉒	1,208	537	推進	1,107	536	推進
		㉓	870	435	推進	770	385	推進
		㉔	836	418	推進	794	397	推進
計	4,122	1,390		3,332	1,648			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	教育補助参加生徒数(累計)【200人】	目標2	教育補助参加生徒数(延べ)【800人】		
			計画	実績	計画	実績		
		㉕						
		㉖	50	43	200	192		
		㉗	50	95	200	501		
		㉘	50	93	200	645		
		㉙	50	167	200	1399		
		計	200 人	398 人	800 人	2737 人		
			進捗率	199.00 %	進捗率	342.13 %		
		確認方法	参加実績による ・参加申込人数		参加実績による ・52回(26日×2回)の延べ参加人数(H29度) ・46回(23日×2回)の延べ参加人数(H30度) ・48回(24日×2回)の延べ参加人数(R元度)			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	P Rを行い、利用者の増加に努めること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	学習（実施）効果や民間との差別化などの意見をいただいた
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	学力が向上したかの検証を行うべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	特になし		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：全体の学力向上のための指導方法についても検討が必要である		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	放課後児童健全育成事業		担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(4) 教育振興と子育ての連携				
			② 児童クラブの充実				
		具体的な事業	放課後児童健全育成事業の充実（継続）				
掲載ページ	22 頁						
3	事業概要	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない小学生の児童を放課後に預かり、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立を支援する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に保護を受けられない小学校に就学中の第1学年から第3学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立を支援。 平成28年度より対象児童を第4学年までに拡充するため、横芝小学校と白浜小学校に施設を整備。※27年度4施設（うち1施設については臨時施設）				
		28年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に保護を受けられない小学校に就学中の第1学年から第4学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立を支援。※28年度5施設 横芝小（定員60名/登録66名）横芝第2（定員40名/登録49名）上堺小（定員40名/登録37名）ひかり（定員70名/登録86名）白浜小（定員40名/登録56名）				
		29年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に保護を受けられない小学校に就学中の第1学年から第4学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続。 横芝小（定員60名/登録55名）横芝第2（定員40名/登録44名）上堺小（定員40名/登録23名）ひかり（定員70名/登録72名）白浜小（定員40名/登録37名）				
		30年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に保護を受けられない小学校に就学中の第1学年から第4学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続。 横芝小（定員60名/登録67名）横芝第2（定員40名/登録48名）上堺小（定員40名/登録25名）ひかり（定員70名/登録89名）白浜小（定員40名/登録51名）				
		31年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に保護を受けられない小学校に就学中の第1学年から第4学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続。 横芝小（定員60名/登録65名）横芝第2（定員40名/登録47名）上堺小（定員40名/登録28名）ひかり（定員70名/登録89名）白浜小（定員40名/登録45名）				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	39,893	25,987	国・県 個人負担
		㉑	51,958	32,244	46,058	28,526	国・県 個人負担
		㉒	47,038	29,617	46,208	27,169	国・県 個人負担
		㉓	46,979	30,909	47,030	29,668	国・県 個人負担
		㉔	47,446	30,580	48,855	31,182	国・県 個人負担
計	193,421	123,350	228,044	142,532			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	児童クラブ待機者数【0人】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	0	0			
		㉒	0	0			
		㉓	0	0			
		㉔	0	0			
		計	0 人	0 人	0 件	0 件	
			進捗率	#DIV/0! %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	待機児童リスト						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	移住・定住のメリットになるように、保護時間や曜日の拡大を検討してほしい
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	子育て支援の充実のため、今後も継続する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	子育て支援の充実のため、今後も継続する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	第5・6学年の受け入れもすべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	他市町に比べ利用時間が短いため、保護者の幅広い働き方に合わせ利用時間を拡大すべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：移住施策にも繋がる利用時間の拡充を引き続き検討いただきたい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	ワークライフバランス充実事業	担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
		具体的な施策	(5) ワークライフバランスの充実				
		具体的な事業	① 男性・女性の育児休業取得を促進する				
		掲載ページ	ワークライフバランス充実事業～仕事も子育ても楽しもう～（新規） 22 頁				
3	事業概要	町内の事業所に対し「ワークライフバランス」を促進するため、ワークライフバランスの大切さや、男女が共に家事や育児に参加することの大切さをPRし、協力企業の増加を図る。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	ワーク・ライフ・バランス充実事業における町内企業への啓発・PR活動に必要な資料収集や関連グッズ考案、検討。				
		28年度実績	町内企業に対し、子育て世代にとって働きやすい職場環境づくりを推進し、ワーク・ライフ・バランス促進企業を増やすための啓発・PR活動の実施。 ・啓発・PR活動用資料を作成（国の「イクメンプロジェクト」より、WLBのすすめ資料引用） （消耗品費：用紙代：6,637円） ・ワーク・ライフ・バランス促進企業配付用ステッカーを作成（消耗品費：97,200円） ・ワーク・ライフ・バランス促進企業配付用グッズを作成（消耗品費：105,840円） ・町内企業へ啓発・PR活動を実施（10社/年）				
		29年度実績	◎町内企業に対し、子育て世代にとって働きやすい職場環境づくりを推進し、ワーク・ライフ・バランス促進企業を増やすための啓発・PR活動を実施した。 ・町内企業へ啓発・PR活動実施（10社/年）→主に町内工業団地・金融機関				
		30年度実績	◎町内企業に対し、子育て世代にとって働きやすい職場環境づくりを推進し、ワーク・ライフ・バランス促進企業を増やすための啓発・PR活動を実施した。 ・町内企業へ啓発・PR活動実施（10社/年）→主に製造業の工場・金融機関・福祉施設等 ・男女共同参画計画（H31～H35）策定				
		31年度実績	◎町内企業に対し、子育て世代にとって働きやすい職場環境づくりを推進し、ワーク・ライフ・バランス促進企業を増やすための啓発・PR活動を実施した。 ・商工会を通じてワーク・ライフ・バランスに関する資料を町内企業に配布した。 ・仕事と家庭の両立支援に積極的な企業を紹介した（男女共同参画だよりの発行） ・パパママ教室において子育て世代へのワーク・ライフ・バランスの啓発を行った。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		27	0		0	0	
		28	210	0	210	105	基金
		29	100	50	0	0	基金
		30	0	0	0	0	
		31	187	93	0	0	基金
計	497	143	210	105			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	総人口に占める年少人口【12.2%】	目標2	協力企業数【8社】	
			計画	実績	計画	実績	
		27	10.90	10.90			
		28	11.20	10.80	-	2	
		29	11.50	10.70	-	1	
		30	11.80	10.50	3	2	
		31	12.20	10.30	5	0	
		計	12.20 %	10.30 %	8	5	
	進捗率	84.43 %	進捗率	62.50 %			
確認方法	人口統計指標による結果(H31.4.1時点)		総合計画指標2021年までに20社				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	経営者が従業員を行かせやすいワークライフバランス関連イベントの企画 高校生から中学生へ普及年齢を下げてはどうか
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	協力企業の基準を明確にすべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年7月1日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	経営者と従業員のワークライフバランスについての認識の整合性を取る必要はある			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 今後は男女共同参画事業の充実という形で引き続き取り組む		

1	予算事業名	英語教育推進事業			担当課	教育課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる					
		具体的な施策	(4) 教育振興と子育ての連携					
			③ グローバルな教育振興					
		具体的な事業	英語教育推進事業（新規）					
掲載ページ	22 頁							
3	事業概要	世界で活躍できるグローバルな人材を育成するため、小中学生の英語力を強化し、成田臨空地域という地域性を活かした国際性豊かな教育を推進する。						
4	事業年度	平成29年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績						
		28年度実績						
		29年度実績	中学生の英語検定料（第2回目受験）の全額を助成。（取得者65.7%） 5級（中学初級程度） @2,000円×304人＝ 608,000円 4級（中学中級程度） @2,100円×132人＝ 277,200円 3級（中学卒業程度） @3,400円×120人＝ 408,000円 準2級（高校中級程度） @4,800円× 41人＝ 196,800円 2級（高校上級程度） @5,400円× 5人＝ 27,000円 合計 1,517,000円					
		30年度実績	中学生の英語検定料（第2回目受験）の全額を助成する。 5級（中学初級程度） @2,000円×230人＝ 460,000円 4級（中学中級程度） @2,100円×204人＝ 428,400円 3級（中学卒業程度） @3,400円× 87人＝ 295,800円 準2級（高校中級程度） @4,800円× 52人＝ 249,600円 2級（高校上級程度） @5,400円× 6人＝ 32,400円 合計 1,466,200円					
		31年度実績	中学生の英語検定料（第2回目受験）の全額を助成する。 5級（中学初級程度） @2,000円×233人＝ 466,000円 4級（中学中級程度） @2,600円×178人＝ 462,800円 3級（中学卒業程度） @3,900円×114人＝ 444,600円 準2級（高校中級程度） @4,900円× 43人＝ 210,700円 2級（高校上級程度） @5,500円× 7人＝ 38,500円 準1級（大学中級程度） @7,600円× 1人＝ 7,600円 合計 1,630,200円					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳						
		㉑						
		㉒	1,321	660	基金	1,517	758	基金
		㉓	1,376	688	基金	1,466	733	基金
		㉔	1,696	848	基金	1,630	815	基金
		計	4,393	2,196		4,613	2,306	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	英検取得者【70.0%】	目標2	【 】		
			計画	実績	計画	実績		
		㉑						
		㉒	-	20.60				
		㉓	30	66.20				
		㉔	68	76.30				
		㉕	70	76.70				
		計	70.00 %	76.70 %	0 件	0 件		
			進捗率	109.57 %	進捗率	#DIV/0! %		
		確認方法	全学年英検取得者実績÷中学校生徒数 年度末取得者					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	幼稚園から英語に慣れる取り組みを行っており、小学生にも検定助成を検討してほしい
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月2日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	3年生の取得率を重視すべきである
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	幼・保から小・中まで英語教育に一貫性を持たせるほか、基礎となる日本語もしっかりと学ばせるべき
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：英語を母語とするALT教員の人材登用、国語力向上に向けた取り組みの必要性		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	新たな公共交通網整備事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(1) 町内・町外の交通アクセスの充実				
			① 新たな公共交通網の整備				
		具体的な事業	新たな公共交通網整備事業（新規）				
掲載ページ	24 頁						
3	事業概要	横芝駅と町外を結ぶアクセスの向上を図るため、成田市方面へのシャトルバスを試験運行する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	横芝駅から成田空港・イオンモール成田へのシャトルバスを10月から日曜・祝日に試験的に運行。（停留所：横芝駅・横芝光町役場・道の駅多古・成田空港第2ターミナル・イオンモール成田） （運行経費2,200,776円+バス停留所等作成経費322,920円）-運賃収入507,836円=町支出額2,015,860円 乗車人数 1,882人(38日運行) 1日平均49.5人				
		29年度実績	横芝駅から成田空港・イオンモール成田へのシャトルバスを日曜・祝日に試験的に運行。（停留所：横芝駅・横芝光町役場・道の駅多古・成田空港第2ターミナル・イオンモール成田） 運行経費4,276,318円-運賃収入835,470円=町支出額3,440,848円 乗車人数 3,061人(72日運行) 1日平均42.5人				
		30年度実績	横芝駅から成田空港・イオンモール成田へのシャトルバスを日曜・祝日に試験的に運行。 運行経費4,279,805円 - 運賃収入896,090円 = 町支出額3,383,715円 乗車人数 3,285人(73日運行) 1日平均45人				
		31年度実績	既存の路線については令和元年11月をもって運行終了とし、運行日及び運行ルートを大幅に見直し、同年12月1日よりリニューアルした成田便の運行を開始した。 【新成田便】 運行経費19,169,361円 - 運賃収入1,330,403円 = 町支出額17,838,958円 乗車人数 5,068人(122日運行) 1日平均2.1人 【旧成田便】 運行経費3,029,209円 - 運賃収入631,872円 = 町支出額 2,397,337円 乗車人数 2,277人(46日運行) 1日平均6.2人				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				0	
		㉑	2,477	1,238	推進	2,016	1,008 推進
		㉒	3,585	1,792	推進	3,441	1,720 推進
		㉓	3,404	1,702	推進	3,384	1,692 推進
		㉔	3,336	1,667	推進	20,237	19,019 推進他
計	12,802	6,399		29,078	23,439		
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	路線数【7路線】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	6	6			
		㉒	1	1			
		㉓					
		㉔					
		計	7 路線	7 路線	0 人	0 人	
			進捗率	100.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	運行路線数						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	海水浴場や近隣プールなどの交通手段が無いので、臨時バスの運行実験を検討してほしい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	30年度に現在の事業の方向性を決定する
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	各停留所の駐車場について検討が必要
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	新たな成田便を運行			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：成田市方面の高校等と連携を図って事業を進めることも検討いただきたい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	町内交通網改善事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(1) 町内・町外の交通アクセスの充実				
			② 町内交通網の改善				
		具体的な事業	町内交通網改善事業（新規）				
掲載ページ	24 頁						
3	事業概要	町内循環バスとデマンド（乗合）タクシー利用者の利便性を向上させ、利用者の拡大を図るため、電車時刻に合わせた早朝運行を開始する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町内循環バス…10月より横芝駅乗入れ時刻を電車の上下線に合わせた時刻に改正。 ・デマンドタクシー…10月より現行午前8時～午後6時の運行時間を試験的に通勤・通学でも利用できるよう午前7時～午後6時に変更。 循環バス時刻表印刷 216,000円、 デマンドタクシー利用案内パンフレット印刷 151,119円				
		29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町内循環バス…7月より大型スーパーへの乗入れを実施。 ・デマンドタクシー…運行時刻の変更に伴う利用客数の変化を検証。 ・デマンドタクシーオペレーター業務事業者選定 循環バス時刻表印刷 219,780円				
		30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町内循環バス…前年度の利用実績を検証し北側ルートの停留個所の組み換えを実施。 ・デマンドタクシー…利用客数の変化を検証し、継続の可能性について検討。 ・デマンドタクシー…オペレーター業務事業者変更 循環バス時刻表印刷 219,780円				
		31年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町が企画し、成田空港圏自治体連絡協議会との共催で「成田空港圏公共交通シンポジウム2020」を開催し、公共交通をテーマに利用者やバス・タクシーの事業者、国・県、空港圏市町村など多彩な関係者による意見交換や情報共有を行い、公共交通の改善や広域連携に対する機運の醸成を図った。 循環バスルート図及び時刻表印刷 180,000円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				0	
		㉑	403	0	367	108	推進
		㉒	216	0	220	0	
		㉓	0	0	220	0	
		㉔	0	0	180	0	
計	619	0	987	108			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	循環バス利用者数【1,500人/月】	目標2	デマンドタクシー利用者数【1,100人/月】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒	18,000	13,286	13,200	14,024	
		㉓	18,000	17,764	13,200	14,462	
		㉔	18,000	21,061	13,200	13,797	
		㉕	18,000	22,211	13,200	13,235	
		計	72,000 人	74,322 人	52,800 人	55,518 人	
	進捗率	103.23 %	進捗率	105.15 %			
確認方法	実績報告書による		実績報告書による				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	デマンドタクシーの運行時間を、夏時間と冬時間にすることはできないか
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	3台の運行時間を変えるなどの改善を検討する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	デマンドタクシーを利用（予約）できないことがあるため改善してほしい
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	デマンドタクシーの乗合率を上げるようするなど、多くの方が利用できるようにする			
計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	一般のタクシーがつかまりづらくなっているため、割り振りについて調整が必要		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 今後は公共交通会議において効果検証しながら引き続き取り組む		

1	予算事業名	公共施設総合管理計画策定	担当課	財政課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(3) 公共施設の統廃合と公共資産経営の強化				
		具体的な事業	① 公共施設機能の再編				
		掲載ページ	25 頁				
3	事業概要	公共施設全体を把握し、長期的な視点で施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施するための基礎資料となる「公共施設等総合管理計画」を早期に策定する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	公共施設等総合管理計画の作成 ・施設カルテの作成 公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料 2,700,000円				
		28年度実績	公共施設等総合管理計画の完成 ・公共施設白書の作成 ・公共施設等総合管理計画の作成 公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料 6,156,000円				
		29年度実績	公共施設等総合管理計画を実行するため、施設の統廃合に係る個別方針や工程などを盛り込んだアクションプランの作成に向け、作成方針の検討及び取り組み体制等を整備。				
		30年度実績	公共施設等総合管理計画を実行するため、20施設について個別方針を決定した。				
		31年度実績	町公共施設等総合管理計画に基づき、令和2年3月に町個別施設計画（156施設）を策定。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	2,700	0	2,700	0	
		㉑	6,156	0	6,156	0	
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		㉔	0	0	0	0	
計	8,856	0	8,856	0			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	遊休資産の売却【1,000㎡】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕	0	0			
		㉖	0	0			
		㉗	0	0			
		㉘	0	0			
		㉙	1,000	0			
		計	1,000 ㎡	0 ㎡	0 件	0 件	
	進捗率	0 %	進捗率	#DIV/0! %			
	確認方法	売買契約					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	町民意見も踏まえながら計画策定を行うこと 今後は、空施設の積極的な営利企業への貸し出しを検討してほしい
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	人口減少に備えるため、公共施設の統廃合を見据えた計画を検討する 無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 個別施設計画を策定したため、終了する		

1	予算事業名	未来を担う世代のための公共施設再編事業	担当課	財政課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(3) 公共施設の統廃合と公共資産経営の強化				
		具体的な事業	① 公共施設機能の再編				
		掲載ページ	25 頁				
3	事業概要	人口減少社会に備えるため、資産経営の観点から、真に必要な公共施設のストックを維持管理するとともに、公共施設総合管理計画に沿った統廃合のアクションプランを早期に策定し、町の遊休資産を整理する。					
4	事業年度	平成29年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績					
		29年度実績	公共施設等総合管理計画を執行するため、施設の統廃合に係る個別方針や工程などを盛り込んだアクションプランの作成に向け、作成方針の検討及び取り組み体制等を整備。				
		30年度実績	公共施設等総合管理計画を執行するため、20施設について個別方針を決定した。大総・南条小学校については、民間を活用した施設利用の検討を実施				
		31年度実績	町公共施設等総合管理計画に基づき、令和2年3月に町個別施設計画（156施設）を策定。また、令和2年3月に閉校となった大総小学校と南条小学校の跡地活用事業について、公募型プロポーザル方式に事業者を募集。大総小学校については、最優秀提案者が選定された。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑					
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	施設のリノベーション【1件】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑	0	0			
		㉒	0	0			
		㉓	0	0			
		㉔	0	0			
		㉕	1	0			
		計	1 件	0 件	0 件	0 件	
			進捗率	0 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	工事請負契約書						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	学校の統合問題を検討しているが、人口減少問題は公共施設を維持管理するうえで緊急な課題であり、できるだけ早く進めるべきである
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年7月1日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	特になし			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	図書館魅力発信基地化計画事業		担当課	社会文化課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり、広域連携を強化する				
		具体的な施策	(4) 公共施設の利用率向上				
		具体的な事業	① 図書館の魅力向上計画				
		掲載ページ	25 頁				
3	事業概要	図書館に隣接しているフランス庭園にくつろぎの空間を確保し、低コストで実施できる移動式コーヒーショップの出店を試行的に行う。(集客の状況により知名度のあるコーヒーショップ等、店舗型軽食店の誘致も視野に入れる。) 集客要素のある図書館にさらに付加価値をつけることで、より充実した施設とし、町の情報発信の拠点として利用者に親しまれ愛される図書館を目指す。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	移動式コーヒーショップの出店を試験的に行った。				
		28年度実績	図書館玄関前や2階ロビーに椅子やテーブルを設置して、気軽にカフェと読書等を楽しめる空間を演出し、図書館の魅力を向上。このことにより、来館者を増やし、町の知名度を上げた。 ・謝礼金(館内イベント等開催時に依頼した出店者および講師への謝礼) … 33,000円 ・消耗品費(カフェの案内ボード等周知看板および装飾品購入) … 49,833円 ・備品購入費(休憩スペース用の椅子並びにテーブル購入費) … 365,129円				
		29年度実績	図書館玄関前や2階ロビーに椅子やテーブルを設置して、気軽にカフェと読書等を楽しめる空間を演出し、図書館の魅力を向上。 ・謝礼金(図書館活用講座・文学講演会の講師への謝礼) … 190,000円 ・消耗品費(クレヨン等イベント用品・展示用品・装飾品購入) … 49,799円				
		30年度実績	図書館玄関前や2階ロビーに椅子やテーブルを設置して、気軽にカフェと読書等を楽しめる空間を演出し、図書館の魅力向上を図った。 ・謝礼金(図書館活用講座・図書館まつり講座・文学講演会の講師への謝礼) … 200,000円 ・著作物使用料(文学講演会開催時著作物使用料) … 2,160円 ・消耗品費(図書館講座・講演会等イベント用消耗品及び衛生用品購入) … 46,993円				
		31年度実績	椅子やテーブルを設置してある2階ロビーにパンやコーヒーの販売店を誘致して、気軽にカフェと読書等を楽しめる空間を演出し、図書館の魅力向上を図った。 ・謝礼金(図書館講演会の講師への謝礼) … 200,000円 ・消耗品費(図書館2階ラウンジ用消耗品及び衛生用品購入) … 9,369円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	500	250 推進	448	224 推進	
		㉒	250	125 推進	240	120 推進	
		㉓	250	125 推進	250	125 推進	
		㉔	210	105 基金	210	105 基金	
計	1,210	605	1148	574			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	図書館利用者数【220,000人】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		⑳	197,000	197,804			
		㉑	202,000	198,515			
		㉒	207,000	190,432			
		㉓	212,000	189,221			
		㉔	220,000	172,404			
		計	1,038,000人	948,376人	0	0	
	進捗率	91.37%	%	進捗率	#DIV/0! %		
	確認方法	業務日誌による来館者数集計					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	カフェの常設について検討する
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	来館者数が増加している
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	利用者が増加するよう館内外（庭園等）問わず工夫すべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	情報発信の拠点としてより充実した施設を目指す
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	他の行事と合わせて出店をし、利用者の拡大を図る
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：感染症等防止のための対応に引き続き取り組んでいきたい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、新たな取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	空家住宅管理事業		担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(5) 空き地・空き家対策				
		具体的な事業	① 空き地や空き家の把握と管理対策の強化				
		掲載ページ	26 頁				
3	事業概要	町の安心安全面から、空き地や空き家の適正な管理が求められている。また、空き家については、有効活用が全国的に広がっていることから、(仮称)空き家対策等基本計画を策定し、空き地・空き家の実態を把握するとともに、関係条例を整備し、空き家問題の解消に取り組む。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	・ 空き家住宅状況調査実施 空き家の所在地の洗い出しを行う必要があることから空き家の位置情報を取得。 (決算額498,960円)				
		29年度実績	・ 推進体制構築：空き家対策の推進体制を構築。 ・ 空き家実態調査、意向調査の実施 現地調査、管理意向調査を行い、空家対策の推進の基礎とするための作業及び実態調査、意向調査結果を得たデータを地図情報で利用できるようなデータを取り込みデータベースを構築。 (決算額5,102,568円)				
		30年度実施	・ 空家等対策協議会の開催 (1回 報酬費28千円) ・ 横芝光町空家等対策計画(素案)の検討 町内の空き家の実態から管理指導、除却、利活用に関する計画の策定に向けた検討を行う。 ・ 空き家データベースの更新を行う。(2件 空き家意向調査返信郵送料1千円)				
		31年度実績	・ 空家等対策協議会の開催(5回/年 報酬費210千円) ・ 横芝光町空家等対策計画の策定 町内の空き家の実態から管理指導、除却、利活用に関する計画を策定する。 ・ 空家住宅活用調査アンケート調査を実施する。(印刷・通信運搬費75千円) 国交省のモデル事業である全国版空家バンクの活用にあたり、登録の意向及び情報収集を行う。 ・ 空き家対策の実施(計画に基づき空き家対策を実施及び空き家データベースの更新を行う。)				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				0	
		㉑	606	303	499	249	推進
		㉒	9,062	4,531	5,103	2,551	推進
		㉓	468	234	28	14	推進
		㉔	294	147	54	29	基金
計	10,430	5,215	5684	2,843			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	空き家の把握【100%】	目標2	空き家条例【1条例】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕					
		㉖					
		㉗	100	100			
		㉘			1	0	
		計	100 %	100 %	1 条例	0 条例	
			進捗率	100 %	進捗率	0 %	
確認方法	空き家に対する全棟調査により実態を把握した成果の作成		空き家条例を制定し、空き家対策を行う				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	空き家バンクについて調査検討を進めること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	町の中心地にも空き家が目立ようになってきた。安心・安全面から早急な対策が必要である。特区の活用などの検討を進めてほしい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	空家の把握と、条例整備を早急に進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	更なる事業の推進を依頼する
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：空き家の実態調査を再度実施し、移住施策との連携を図って進める必要がある		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	ご当地アプリ開発事業		担当課	総務課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する					
		具体的な施策	(6) 時代に合った便利な行政サービスの実現					
		具体的な事業	① ICTを活用した新たな行政サービスの開発					
		掲載ページ	ご当地アプリ開発事業（新規/先行） 26 頁					
3	事業概要	町が発信している様々な情報を、スマートフォンで受信閲覧できるアプリを開発し「住みやすさ」を提供するとともに、町の最新ニュースや観光情報、特産品情報など、町民が共有できる情報をリアルタイムに配信し、さまざまな行政サービスへの活用を図る。						
4	事業年度	平成27年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	スマートフォン向けアプリケーションの開発を委託し、アプリシステム、WEBサーバ、管理システムを構築した。 各課の発信情報を整理し、有効活用方法について検討した。 アプリの名称「よこしばひかりまちナビ」（通称：まちナビ） 開発業務委託10,306,000円					
		28年度実績	平成28年10月に「まちナビ」のサービスを開始し、全庁的な操作研修と実証実験を開始した。行政情報に加えてローカル情報を発信するため、「町民記者」を選定し、育成研修を実施した。 住民周知については、11月広報発行時にチラシ全戸配布及びホームページにて周知した。 町民記者報酬32,000円、記事作成レベルアップ講師謝礼75,600円、消耗品12,424円、 アプリシステム保守管理運用委託1,159,122円、アプリ追加サービス開発委託1,296,000円 ゴミカレンダー更新委託54,000円					
		29年度実績	「まちナビ」を通じた情報発信を活性化させるとともに、利用者が使いやすいアプリにするため、追加開発（バージョンアップ）を実施した。（ピンチイン・ピンチアウト、既読機能追加、日時表記追加） 町民記者報酬71千円、記事作成レベルアップ講師謝礼86千円、消耗品4千円 アプリシステム保守管理運用委託961千円 アプリ追加サービス開発委託897千円					
		30年度実績	「まちナビを」を通じた情報発信を活性化させるとともに、利用者が安心して利用できるよう継続して保守を行い、生活に直接結びつくゴミカレンダーの更新を実施した。 町民記者報酬58千円、アプリシステム保守管理運用委託907千円 ゴミカレンダー更新委託54千円					
		31年度実績	「まちナビ」導入後の取組結果を検証し、町公式ホームページリニューアルに合わせ、ホームページと連動したアプリへと改善した。（情報発信量の拡大と、利用者の目的別に通知が届くことで効率的な情報発信を図ることができる。） まちナビ報酬 28,000円、アプリシステム保守管理運用委託 915,600円 プッシュ通知バージョンアップ対応 1,069,200円					
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)			
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源		
		⑳	10,306	10,306	先行	10,306	10,306	先行
		㉑	3,342	1,671	推進	2,630	1,315	推進
		㉒	2,949	1,474	推進	2,019	1,009	推進
		㉓	2,167	1,083	推進	1,019	510	推進
		㉔	3,458	1,729	基金	2,012	1,006	基金
計	22,222	16,263		17,986	14,146			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	アプリの登録者数【2,500人】	目標2	【 】		
			計画	実績	計画	実績		
		⑳	0	0				
		㉑	800	618				
		㉒	800	628				
		㉓	500	540				
		㉔	400	454				
		計	2,500 人	2,240 人	0 件	0 件		
	進捗率	89.6 %	進捗率	#DIV/0! %				
確認方法	アプリ登録者統計情報							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	Facebookを早期に開設し、有効な連携を行うこと
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	追加等更に発展させる
			今後の方針の理由	サービス開始に至らなかったため、事業効果が図れないが、28年度中に一般サービスを開始し、以後も継続的に実施する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	アプリ利用者が興味がわき、見たくなるような情報発信を期待する
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	まち記者投稿の活用や、フェイスブックとの連携など、情報充実と登録者の拡大を図る
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	フェイスブックとの連携などにより、知りたい情報をすぐ見れるようにすべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	まち記者の категория が重複しないようにし、情報の充実と登録者の拡大を図る
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	まち記者を増やし投稿内容の充実を図るほか、アプリである必要性について再度検討すべき
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：SNS活用研修会があるとよい。また、まちナビ2の運用開始については周知が必要である。		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	地方創生子育て防災対策事業			担当課	環境防災課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する					
		具体的な施策	(7) 災害時における子育て世帯のサポート					
			① 子育て世帯に対応した災害対策					
		具体的な事業	子育て世帯災害備蓄品整備事業					
掲載ページ	26 頁							
3	事業概要	東日本大震災の津波被害の経験を踏まえ、災害時に妊婦や乳幼児が避難先で必要とする災害備蓄品を整備し、子育て世帯の災害時における不安を解消するとともに、安心して子育てできる環境を整備する。 災害時に子育て世帯の避難者120世帯が滞在できる環境を整える。						
4	事業年度	平成27年度～平成31年度						
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	子育て世帯へ実施したアンケートを参考とし、乳幼児健診業務担当部署との連携を図り、子育て世帯が必要とする防災備蓄品を購入した。 ・消耗品（避難用テント他20点） 7,354,368円 ・備品（簡易ベッド他1点） 2,645,000円					
		28年度実績	妊婦教室や乳幼児健診時に合わせ、防災備蓄品の展示と防災講習を実施した。（アンケート調査を実施） ・防災備蓄品展示 8回 ・防災講習 1回					
		29年度実績	妊婦教室や乳幼児健診時に合わせ、防災備蓄品の展示と防災講習を実施した。（アンケート調査を実施） ・防災備蓄品展示 14回 ・防災講習 2回 消耗品のうち、哺乳ボトル（滅菌された使い捨て哺乳瓶）、粉ミルク、離乳食の買い替え実施					
		30年度実績	妊婦教室や乳幼児健診時に合わせ、防災備蓄品の展示と防災講習を実施する。（アンケート調査を実施） ・防災備蓄品展示 12回 ・防災講習 5回 消費期限がある哺乳ボトル、粉ミルク、離乳食については、廃棄しないよう備蓄品展示時に配布					
		31年度実績	妊婦教室や乳幼児健診時に合わせ、防災備蓄品の展示と防災講習を実施した。また、台風15号時に防災備蓄品を配布した。 ・防災備蓄品展示 12回 ・防災備蓄品配布 1回（台風15号時） ・防災講習 4回 消耗品のうち、哺乳ボトル（滅菌された使い捨て哺乳瓶）買い替え実施。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		⑳	10,000	10,000	先行	10,000	10,000	先行
		㉑	0	0		0	0	
		㉒	121	0		121	0	
		㉓	0	0		0	0	
		㉔	117	0		98	0	
計	10,238	10,000		10,219	10,000			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	子育て防災物品に対する不安度【50%以下】		目標2	【 】	
			計画	実績		計画	実績	
		㉑	0	0				
		㉒	80.00	90.00				
		㉓	70.00	77.00				
		㉔	60.00	64.00				
		㉕	50.00	49.00				
		計	50.00 %	49.00 %		0 件	0 件	
			進捗率	98.00 %		進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	アンケート調査							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	設置効果を生育て世帯にP Rする活動を継続する アンケート調査は、目標年次に調査する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	更新物資は乳児のいる家庭に配るなどP Rしてはどうか
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	子育て世帯にP Rする活動を継続する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無		
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	配付に関する職員マニュアルを作成すべき		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、新たな取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	タウンマネジメント人材育成事業	担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(8) 町の核となる人財の育成				
		具体的な事業	① 町の将来を担う人づくり				
		掲載ページ	タウンマネジメント人材育成事業（新規） 27 頁				
3	事業概要	町の担い手となる地域活動リーダーや、コミュニティビジネスの起業家などを育成するため、タウンマネジメント講座を開催するとともに、修了者のネットワークを構築し、町と人の活性化を促進する。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	タウンマネジメント講座「地域資源を活用したニューツーリズム」を開設し、地域の核となる人財10人を育成した。 ＜講座＞千葉大学COC+と連携し、講座開催10日、＜視察＞大田原市（栃木県） 飯能市（埼玉県） ＜公開講座＞千葉大学COC+公開講座と連携し「アウトドアによる地方創生」開講 参加者118人 講師謝礼112,719円、旅費15,978円、消耗品8,140円、食糧費26,957円、保険料3,000円 バス賃借料108,920円 合計275,714円				
		29年度実績	前年度の講座を更に深めるため、タウンマネジメント講座「地域資源を活用したニューツーリズム」を継続し、モニターツアーの開催やツアーの販売方法などの仕組みを検討立案した。 ＜講座＞千葉大学COC+と連携した講座開催12日、＜視察＞香取市（県内）、＜公開イベント＞こどもジョブパーク出展1日 ＜事業費＞講師謝礼120,000円、保険料3,000円、バス賃借料64,800円 合計187,800円				
		30年度実績	タウンマネジメント講座「地域ブランドの作り方-横芝光町の地域ブランド構築に向けて-」を開催したほか、廃校の民間活用やIC周辺開発の参考とするため県内視察を行った。 ＜講座＞地域ブランドの作り方-横芝光町の地域ブランド構築に向けて- ＜視察＞南房総市、鴨川市 ＜事業費＞講師謝礼20,000円 普通旅費6,758円 消耗品費4,989円 食糧費14,276円 一般保険料2,750円				
		31年度実績	当町におけるオリンピックレガシー等について、プロジェクト検討を実施する予定であったが、災害・感染対策等により計画通りに実施は出来なかった。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				0	
		㉑	788	788 加速	276	260	推進
		㉒	442	221 推進	188	94	推進
		㉓	418	209 推進	49	21	推進
		㉔	95	47 基金	0	0	
計	1,743	1,265	513	375			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	講座修了者【50人】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		⑳					
		㉑	10	10			
		㉒	10	10			
		㉓	15	10			
		㉔	15	0			
		計	50 人	30 人	0 件	0 件	
	進捗率	60.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	講座修了者						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年7月1日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	特になし			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、新たな取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	成田空港圏自治体連絡協議会9市町の連携強化			担当課	企画空港課	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(9) 自治体連携による総合戦略の推進				
		具体的な事業	① 成田国際空港と空港圏自治体との連携				
		掲載ページ	27 頁				
3	事業概要	成田国際空港という優れた社会基盤を活用し、空港に近い恩恵を町づくりに最大限に活かすとともに、空港圏の自治体が互いに連携を図り、まち・ひと・しごとの創生と好循環を確立する。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	成田空港圏周辺自治体9市町で地域振興の連携強化を図るため、成田空港圏自治体連絡協議会内に検討チームを設置し地域振興策を検討した。				
		28年度実績	成田空港圏周辺自治体9市町が連携する情報発信、イベント、DMO等についての参加を検討した。 ・木更津アウトレットにて成田空港圏周辺自治体9市町のPR活動を実施した。				
		29年度実績	成田空港圏周辺自治体9市町が連携する情報発信、イベント、DMO等についての参加を検討した。 ・空港内千葉県ミニアンテナショップPRイベントへの参加 ・空の日フェスティバルで図柄入りナンバープレートデザインアンケートの実施・図柄の決定 ・成田空港周辺9市町PR動画の作成（空港ターミナル内のデジタルサイネージで放映中）				
		30年度実績	成田空港圏周辺自治体9市町が連携する情報発信、イベント、DMO等についての参加を検討した。 ・成田空港会社の国際会議（ACI）で周辺自治体のPR活動の実施した。 ・図柄入りナンバープレートの導入PR活動を実施した。 ・昨年度作成した9市町PR動画（英語版）へ日本語字幕を追加し、国内向けへ再編集した。				
		31年度実績	成田空港圏周辺自治体9市町が連携する情報発信、イベント、DMO等についての参加を検討した。 ・「成田空港の更なる機能強化」に伴う周辺の地域づくりについて別途協議しているため、検討チームとしての今後の活動（イベント等）は縮小されることとなったが、図柄入りナンバープレートの導入PR活動を引き続き実施するとともに、空港関連の情報共有を通じ、成田空港圏自治体の連携強化を図った。				
6	事業費		計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		㉗	0	0	0	0	
		㉘	0	0	0	0	
		㉙	0	0	90	0	
		㉚	27	0	27	0	
		㉛	0	0	0	0	
計	27	0	117	0			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	成田空港圏の戦略連携開始【1事業】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉗	0	0			
		㉘	0	0			
		㉙	0	0			
		㉚	0	0			
		㉛	1	0			
		計	1 事業	0 事業	0 件	0 件	
	進捗率	0 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	検討チームを存続させ、各年事業を実施する						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も連携を強化する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	図柄入りナンバーは、効果をしっかり検討すること
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も連携を強化する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も連携を強化する
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も連携を強化する			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、広域連携創生事業の中で取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	山武郡市広域市町村圏の連携強化		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(9) 自治体連携による総合戦略の推進				
			② 山武郡市広域圏の連携				
		具体的な事業	山武郡市広域市町村圏の連携強化（継続）				
掲載ページ	27 頁						
3	事業概要	国や千葉県 の地域連携施策を活用しつつ、近隣自治体との連携を深め、広域的な課題の解決や戦略的相互関係の構築に努める。					
4	事業年度	平成27年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	空港南部地域（山武市・横芝光町・多古町）との連携を探る会議を開催				
		28年度実績	広域連携に関連した勉強会等の開催や、地方創生推進交付金の連携申請を検討し、山武市・芝山町・横芝光町・多古町との連携を開始した。 （広域連携創生事業の開始 ※別シート作成）				
		29年度実績	広域連携に関連した勉強会等の開催や、地方創生推進交付金の連携申請を山武市・芝山町・横芝光町・多古町で実施した。 （広域連携創生事業の継続 ※別シート作成）				
		30年度実績	広域連携に関連した勉強会等の開催や、地方創生推進交付金の連携申請を山武市・芝山町・横芝光町・多古町で実施した。 （広域連携創生事業の継続 ※別シート作成）				
		31年度実績	広域連携に関連した勉強会等の開催や、地方創生推進交付金の連携申請を山武市・芝山町・横芝光町・多古町で実施した。 （広域連携創生事業の継続 ※別シート作成）				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				0	
		㉑					
		㉒					
		㉓					
		計	0	0	0	0	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	戦略的連携事業の開始【1事業】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		⑳					
		㉑	1	1			
		㉒					
		㉓					
		計	1 事業	1 事業	0 件	0 件	
	進捗率	100 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	連携事業の実施計画書						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も連携を強化する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も新たな連携を検討する
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も連携を強化する
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
評価年月日	令和元年8月1日			
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も連携を強化する			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、広域連携創生事業の中で取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	広域連携創生事業（空港人材育成事業（創生））		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する				
		具体的な施策	(9) 自治体連携による総合戦略の推進				
			① 成田国際空港と空港圏自治体との連携				
		具体的な事業	広域連携創生事業（新規）				
	掲載ページ	27 頁					
3	事業概要	<p>山武市、多古町、芝山町、横芝光町の4市町は、成田空港の近傍に位置するものの、4万人の雇用を持つ成田空港への就業は5%程度に留まっている。</p> <p>そこで、今後も航空需要の拡大と併せて人材確保が必要な成田空港と連携して、空港関連企業で働く人材を輩出し、空港就労者の増加による定住促進を図ることを目的に、広域自治体が連携してグローバルキャリア教育を推進する。</p>					
4	事業年度	平成29年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	空港南部地域（山武市・横芝光町・多古町）との連携を探る会議を開催				
		28年度実績	広域連携に関連した勉強会等の開催や、地方創生推進交付金の連携申請を検討した。				
		29年度実績	<p>成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南条小学校6年生「成田空港お仕事見学会」に参加。 ・横芝中学校及び光中学校1年生は既存事業の職業学習会に空港関連企業から講師の派遣を受けた。 				
		30年度実績	<p>成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南条小学校6年生、東陽小学校6年生、日吉小学校6年生、大総小学校4,5,6年生が「成田空港お仕事見学会」に参加。 ・横芝中学校及び光中学校1年生は既存事業の職業学習会に空港関連企業から講師の派遣を受けた。 				
		31年度実績	<p>成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講和等開催委託料 283,400円 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				0	
		㉑	300	150	推進	0	0
		㉒	300	150	推進	238	119
		㉓	300	150	推進	284	142
		計	900	450		522	261
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	空港で働く人の増加数【15人】	目標2	実施校【15校】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒					
		㉓			3	3	
		㉔			5	6	
		㉕			7	5	
		計	(H32) 15 人	- 人	15 件	14 件	
	進捗率	- %	進捗率	93.33 %			
	確認方法	NAA従業員実態調査 ・3年に1回実施(前回調査:2017年11月:372人)					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	空港で働く人を増やすには、シャトルバスの充実が欠かせない。横芝駅への乗り入れや、便数の増加、バス停の位置、無料化など検討すべき
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	空港への公共交通の充実を検討を加えながら進める
		計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
今後の方針	継続			
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	インターチェンジ周辺整備事業		担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化する				
		具体的な施策	(1) 交流や賑わいの拠点開発				
			① 横芝光インターチェンジの活用				
		具体的な事業	横芝光インターチェンジ周辺開発促進事業(新規)				
掲載ページ	29 頁						
3	事業概要	交通の拠点でもある横芝光インターチェンジ周辺を有効活用し、賑わいを創出する土地利用を検討するため、休止していたIC活用検討委員会を再出発させる。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	<ul style="list-style-type: none"> IC活用検討委員会の再開準備するため関係機関協議 ※平成20年度から休止している銚子連絡道路横芝光IC等活用について協議を実施した。 IC活用検討委員会作業部会 再開準備 				
		29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> IC活用検討委員会作業部会(会議1回) 銚子連絡道路横芝光IC等の活用について(会議1回) [千葉県道路計画課、道路整備課、道路環境課、山武土木事務所、横芝光町] 				
		30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県関係機関との協議 都市計画の変更に伴う土地利用について(協議1回) [千葉県都市計画課] 横芝光ICの北側用地について(協議1回) [千葉県道路計画課] 				
		31年度実績	<ul style="list-style-type: none"> IC活用検討委員会作業部会 開催 IC活用検討委員会 開催 				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑					
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		㉔	0	0	0	0	
計	0	0	0	0			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1 IC周辺土地利用計画作成【1計画】	目標2 施設検討案作成【1計画】			
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒					
		㉓					
		㉔	1	1	1	0	
		計	1 計画	1 計画	1 件	0 件	
			進捗率	100 %	進捗率	0 %	
確認方法	計画作成実績 土地利用ビジョンにより、整備方針(整備イメージ図)を作成した。		施設検討案実績				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	産直交流施設（坂田池）と競合しないよう、配慮する必要がある
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	地方創生に限らず、町づくりのために必要な事業である
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	昔から検討委員会が行われているが、検討されてきた内容が活かされていない。延伸計画が決定されていればインター周辺の土地利用について、しっかり計画してほしい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	銚子連絡道路計画が検討されていた時と変更され、横芝光インターが平面交差となったため、検討されていた内容が白紙になってしまったので、改めて昨年からの検討に着手した 今後も継続的に検討を進める
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	開発するにはいろいろな規制等があるものの、関係機関と連携して早期に整備すべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	土地利用ビジョンの策定とあわせ、今後も継続的に検討を進める
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	新たな拠点施設（仮称産直交流施設）の活用事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し活性化する				
		具体的な施策	(1) 交流や賑わいの拠点開発				
			② 新たな交流拠点施設の活用				
		具体的な事業	新たな拠点施設（仮称産直交流施設）の活用事業（新規）				
掲載ページ	29 頁						
3	事業概要	農産物などの地場製品の販売と、新鮮な食の提供、そして観光客などの立ち寄り拠点となる複合施設を整備し、人と物の交流を活性化する。総合戦略では、拠点施設の機能を十分に発揮できる仕組みを構築する。					
4	事業年度	平成28年度～未定					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	昨年度から引き続き、基本調査業務の継続及び委員会開催による検討 ・パブリックコメントの実施（基本構想に対する意見集約） ・第4回横芝光町産直交流施設検討委員会開催（基本構想の決定）【1回／報酬59,600円】 基本計画策定業務を開始するための業者（コンサルタント会社）選定 ・横芝光町産直交流施設基本計画策定業務委託開始				
		28年度実績	昨年度から引き続き、基本計画策定業務の継続及び委員会開催による検討 ・横芝光町産直交流施設基本計画検討委員会の開催（全6回）【6回／報酬276,600円】 【6回／報酬120,000円】 ・パブリックコメントの実施（基本計画に対する意見集約） ・基本計画の策定				
		29年度実績	未実施				
		30年度実績	休止				
		31年度実績	休止				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					0
		㉑	6,073	0	5,853		0
		㉒	315	0	0		0
		㉓	144	0	0		0
		㉔	0	0	0		0
計	6,532	0	5,853		0		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	交流拠点の整備【1箇所】	目標2	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕					
		㉖					
		㉗					
		㉘	1	0			
		計	1 箇所	0 箇所	0 件	0 件	
			進捗率	0 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	支援箇所数						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	文教地域内での土地利用の矛盾、中学校説明会の課題、出店者団体の育成、銚子連絡道路の延伸や町全体の観光振興との繋がりなど、計画内容の見直しが必要である
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）
			今後の方針の理由	課題を整理して、従来の産直交流施設にとらわれない見直しを検討する
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
			外部有識者からの意見	事業効果を整理し見直しを行うこと
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	課題を整理する
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
外部有識者からの意見	特になし			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	改善		
	今後の方針の理由	課題を整理する		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：事業休止中のため、評価なし 意見：事業休止中のため、意見なし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：休止 課題を整理する		

1	予算事業名	「もつ」のもつ魅力を活かそう事業（創生）		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化する				
		具体的な施策	(2) 特産品を活用した観光客の増加				
			① 特産品による町の活性化				
		具体的な事業	「もつ」のもつ魅力を活かそう事業（新規）				
掲載ページ	29 頁						
3	事業概要	フードデザイナーによる「もつ」を活用した手軽に食べることのできる「新しいもつ料理」を開発し、横芝光町の「もつ」の魅力をPRする。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	フードデザイナーをアドバイザーとし町内飲食店等を含む開発検討組織を立ち上げ、「新しいもつ料理」を開発する。 検討委員会 10月 第1回検討委員会（委員会発足）、11月 第2回検討委員会（今後の事業展開の検討） 2月 第3回検討委員会（商品開発に係る試食、食べ比べ、意見交換） 3月 第4回検討委員会（年度のまとめ、次年度の活動計画） 特産品開発支援業務委託 540,000円 もつ試作品検討用賄費 6,922円				
		29年度実績	検討委員会 9月 第5回検討委員会（活動計画）、12月 第6回検討委員会（今後の事業展開及び経過報告） 地域イベントでの試食・販売PR 参加イベント 10月 GOOWフェス（町）、12月 町イチ！村イチ！（東京都有楽町） 3月 花いっぱいin習志野台（船橋市習志野台） 特産品PRイベント業務委託 297,864円 試食用もつ購入など 213,504円 PR用横幕作成 12,960円 特産品開発支援業務委託 805,853円				
		30年度実績	検討委員会 6月 第7回検討委員会（活動計画）、3月 第8回検討委員会（活動報告及び今後の活動について） 広告宣伝活動 産業まつり等の地域イベントでの試食・販売活動の実施 「もつ」活用にかかるガイドラインの作成 特産品PRイベント業務委託 97,200円 試食用もつ購入など 64,702円 特産品開発支援業務委託 527,000円				
		31年度実績	広告宣伝活動 地域イベントでの試食・販売PR 町イチ！村イチ！出展（東京都有楽町） 特産品PRイベント業務委託 284,240円				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		27	0			0	
		28	1,057	528	推進	547	273
		29	2,248	1,124	推進	1,324	662
		30	2,066	758	推進	693	344
		31	855	427	基金	317	159
		計	6,226	2,837		2,881	1,438
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1 「もつ」新メニューの開発【2品】	目標2 新メニュー取扱い店舗数【7店舗】	計画	実績	
			計画	実績	計画	実績	
		27					
		28	2	0	0	0	
		29	0	0	2	0	
		30	0	0	2	0	
		31	0	0	3	0	
		計	2 品	0 品	7 件	0 件	
進捗率	0 %		進捗率	0 %			
確認方法	新メニューのレシピ確認		取扱い店舗の現地視察				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標3 観光客の店舗立ち寄り人数【2000人/年】	目標4 「もつ」イベント来客数【10000人/年】	計画	実績	
			計画	実績	計画	実績	
		27					
		28					
		29	500	0	3,000	1,550	
		30	1,000	0	5,000	600	
		31	2,000	0	10,000	600	
		計	3,500 人/年	0 人/年	18,000 人	2,750 人	
進捗率	0 %		進捗率	15.28 %			
確認方法	各店舗への観光客入込調査		イベント来場者数				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	メディアを活用した周知により集客を図ること
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	「もつ」だけでなく、町の特産品をネット販売できるような総合的な仕組みを検討して欲しい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	町をPRできる特産品の開発を進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	町内の飲食店（宿泊施設）でのPRを強化してはどうか
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
今後の方針	改善			
今後の方針の理由	PRを強化する			
計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	PRを強化するほか、アンケートを行い意見を収集する		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	PRを強化する		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：終了 事業内容を見直し、新たな取り組み方法を検討する		

1	予算事業名	マスコットキャラクター「よこびー」活用事業		担当課	産業課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し活性化する				
		具体的な施策	(3) マスコットキャラクター「よこびー」の活用				
			① よこびー知名度の向上	② よこびーグッズの開発			
		具体的な事業	マスコットキャラクター「よこびー」活用事業（新規）				
	掲載ページ	30 頁					
3	事業概要	町のマスコットキャラクター「よこびー」を活用し、町のイメージアップを図るとともに、活性化につながるイベントに積極的に参加し、町の知名度を向上させる。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績	町のPR・イメージアップにつながるよう大勢の集客が見込まれるイベント等へ積極的に参加し、マスコットキャラクター「よこびー」の知名度の向上を図るとともに、町のPRを行った。 キャラクターグッズについては、名刺やキズテープ、イラスト入りポリバッグ、よこびー用バッグを作成し、イベント参加者等へ配布を行った。				
		28年度実績	マスコットキャラクター活用事業費合計1,973,229円 (内訳)「よこびー」着ぐるみ作成委託料 572,400円 着ぐるみ修繕料37,800円 着ぐるみクリーニング 33,739円 着ぐるみ2体となり、町のPR・イメージアップにつながるイベント等への参加を促進し、町の知名度を向上させた。また、キャラクターグッズ(5種)等を作成 1,329,290円 民間業者と連携を図りながらグッズの販売を通じて経済的な効果を得る事ができた。				
		29年度実績	マスコットキャラクター活用事業費合計721,140円 (内訳)着ぐるみクリーニング83,152円 着ぐるみ貸出要領を整備し、2体となった着ぐるみを活かし、町のPR・イメージアップ・知名度向上につながるイベント等への参加を促進した。また、キャラクターグッズ(6種)等を作成 548,100円 イラスト作成委託料10,800円 民間業者と連携を図りながらグッズの販売を通じて経済的な効果を得ることができた。				
		30年度実績	マスコットキャラクター活用事業費合計954,288円 (内訳)着ぐるみクリーニング86,184円 着ぐるみ貸出要領を活用し、外部イベントへの貸出や、町のPR・イメージアップ・知名度向上につながるイベント等への参加を促進した。また、キャラクターグッズ(4種)等を作成 857,304円 イラスト作成委託料10,800円 民間業者と連携を図りながらグッズの販売を通じて経済的な効果を得ることができた。				
		31年度実績	マスコットキャラクター活用事業費合計255,811円 (内訳)着ぐるみクリーニング87,890円 着ぐるみ修繕料等31,641円 着ぐるみ貸出要領を活用し、外部イベントへの貸出や、町のPR・イメージアップ・知名度向上につながるイベント等への参加を促進した。また、キャラクターグッズ(1種)を作成 125,280円 イラスト作成委託料11,000円 民間業者と連携を図りながらグッズの販売を通じて経済的な効果を得ることができた。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳				1,014	0
		㉑	2,064	1,032 基金	1,973	987 基金	
		㉒	880	440 基金	722	361 基金	
		㉓	1,005	502 基金	954	477 基金	
		㉔	290	145 基金	256	128 基金	
計	4,239	2,119	4,919	1,953			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	イベントへの参加【60回/年】	目標2	グッズ総販売額【10,000千円/累計】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉕					
		㉖	45	55	1,000	5,710	
		㉗	50	52	2,000	1,844	
		㉘	55	47	3,000	3,864	
		㉙	60	40	4,000	3,343	
		計	210 回/年	194 回/年	10,000 千円	14,761 千円	
		進捗率		92.38 %	進捗率	147.61 %	
確認方法	活動実績台帳		年間販売額実績調査				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	他自治体（杉並区など）の取組を参考に、目的を持って取り組むこと
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
			計画変更の必要性	無
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	「よこぴーの唄」をもっと流して、PRを拡大していく
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
			計画変更の必要性	無
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
評価年月日	令和元年7月1日			
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	特になし			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
	計画変更の必要性	無		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：特になし		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	観光SNS事業	担当課	産業課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し活性化する				
		具体的な施策	(4) 観光情報の発信				
			① SNSを活用した情報発信				
		具体的な事業	観光SNS事業（新規）				
掲載ページ	30、26 頁						
3	事業概要	観光まちづくり協会が作成するホームページやfacebookなどのSNSサービスを活用し、ご当地アプリとの情報連携を図りながら、観光情報をリアルタイムに発信し観光客を増加させる。					
4	事業年度	平成28年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	観光協会のホームページ及びfacebookを新たに開設し、ご当地アプリ・町ホームページ・町ツイッターと連携し町の観光情報を発信した。 また、年間約20万のアクセス数がある町ホームページに観光協会ホームページのバナーを貼り閲覧の増加を図った。				
		29年度実績	観光まちづくり協会ホームページ及びfacebookと、町ご当地アプリ・町ホームページ・町ツイッター等を連携し、観光情報を発信した。 海水浴場イベントや梅まつりでは、町ツイッターのイベント情報、開花情報と連携し協会ホームページ及びfacebookの更新を行った。				
		30年度実績	観光まちづくり協会ホームページ及びfacebookと、町ご当地アプリ・町ホームページ・町ツイッター等を連携し、観光情報を発信した。 海水浴場イベントや梅まつりでは、町ツイッターのイベント情報、開花情報と連携し協会ホームページ及びfacebookの更新を行った。 海水浴場を開設している7・8月は11,229回、梅まつり期間の2・3月は10,669回とイベント情報の発信による閲覧数の増加を達成した。				
		31年度実績	観光まちづくり協会ホームページ・facebookと、町ご当地アプリ・町ホームページ・町ツイッター等と連携し、観光情報を発信した。 海水浴場イベントや梅まつりでは、町ツイッターのイベント情報や開花情報と連携し協会ホームページ及びfacebookの更新を行った。 また、facebookならではの動画投稿や、外国語投稿なども実施し、梅まつり期間ではリーチ数5,032、リアクション数1,093となり、今後の情報発信の幅を広げることが出来た。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳	0	0	0	0	
		㉑	0	0	0	0	
		㉒	0	0	0	0	
		㉓	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	観光協会HP閲覧者数【25,000人/年】	目標2	観光客の増加<海水浴>【10,000人/年】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒		15,808	6,000	9,215	
		㉓	5,000	33,536	7,500	8,675	
		㉔	15,000	39,405	9,000	9,300	
		㉕	25,000	31,721	10,000	8,150	
		計	25,000 人	31,721 人	10,000 人/年	8,150 人/年	
進捗率		126.88 %	進捗率	81.50 %			
確認方法	観光協会ホームページ閲覧カウンター数 ※カウンター機能はH28.7に搭載		観光入込状況調査				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標3	観光客の増加<坂田城跡>【10,000人/年】	目標4	【 】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒	6,000	10,598			
		㉓	7,500	15,000			
		㉔	9,000	17,000			
		㉕	10,000	13,500			
		計	10,000 人/年	13,500 人/年	0 件	0 件	
進捗率		135.00 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	観光入込状況調査						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成28年7月15日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	KPI(目標1)の修正を行うこと
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成28年8月2日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	事業を開始したばかりなので今後の実績により判断する
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	観光情報をリアルタイムに発信するべきである
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日	令和元年7月1日		
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
	外部有識者からの意見	SNSが乱立傾向にあり、どれを見れば一番効果的かが分からないため、整理が必要		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日	令和元年8月1日		
	今後の方針	継続		
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：タイムリーな情報発信の強化が必要であり、町民も受講できるSNS講座の開催があるとよい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	駅前情報交流拠点整備事業（創生）		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化する				
		具体的な施策	(1) 交流や賑わいの拠点開発				
			② 新たな交流拠点施設の活用				
		具体的な事業	駅前情報交流拠点整備事業（創生）				
掲載ページ	29 頁						
3	事業概要	町の玄関口であるJR横芝駅の機能補完と、空洞化した駅周辺の賑わいの創出、（仮称）観光まちづくり会社設立を契機とした観光サービスの充実と移住業務との連携を目的に、横芝駅前を元気にする「にぎわい拠点機能」、観光情報を様々なニーズに繋ぐ「まちなか交流ハブ機能」、知りたい情報をワンストップで提供する「集約情報発信・活用機能」などを兼ね備えた情報交流拠点を整備する。また施設の運営主体となる（仮称）観光まちづくり会社を町の案内役（ガイド）に育成し、情報発信と情報提供機能を高め、町の魅力発信の核となる施設の運営を目指す。					
4	事業年度	平成29年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	関係機関調整・事業計画作成 地方創生拠点整備交付金申請/採択				
		29年度実績	①横芝駅前情報交流拠点建設事業 89,166,930円 ・設計・監理・建築工事等 ②横芝駅前情報交流拠点活用事業 17,022,818円 ・施設外構工事・運用備品・車庫建設・案内パンフレット作成・駅前マルシェ促進等 ③横芝駅前情報交流館その他事業 4,178,545円 ・外国人誘致のための公衆無線LAN整備（Wi-Fi）・備品購入・ロゴデザイン作成等				
		30年度実績	情報発信と情報提供機能を高め、町の魅力発信の核となる施設の運営を目指すため、指定管理者である観光まちづくり協会との連携を図った。また、施設利用者を増やすべく、各種イベントや施設のPR活動を積極的に行った。 ①横芝駅前情報交流館管理事業委託料 8,846,600円 ・ヨリドコロ指定管理・商標登録業務委託 ②横芝駅前情報交流館その他事業 264,503円 ・備品購入・オープニングセレモニー賃借料等				
		31年度実績	情報発信と情報提供機能を高め、引き続き町の魅力発信の核となる施設の運営を目指すため、指定管理者である観光まちづくり協会との連携を図った。また、施設利用者を増やすべく、各種イベントや施設のPR活動を積極的に行った。 ①横芝駅前情報交流館管理事業委託料 8,720,000円 ②横芝駅前情報交流館その他事業 207,460円 ・委託料 樹木整備業務委託 ・消耗品購入 看板用横断幕購入 トイレ用荷物台購入 ・修繕費 トイレ棚、フック、ロールスクリーン				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		⑳					
		㉑					
		㉒	109,850	54,925 拠点	110,369	102,963 拠点等	
		㉓	8,978	4,320 基金	9,111	4,469 基金	
		㉔	8,820	4,410 基金	8,928	4,400 基金	
計	127,648	63,655	128,408	111,832			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	交流拠点の整備【1箇所】	目標2	施設利用者【35,000人】	
			計画	実績	計画	実績	
		⑳					
		㉑					
		㉒	1	1			
		㉓			15,000	43,779	
		㉔			20,000	43,563	
		計	1 箇所	1 箇所	35,000 人	87,342 人	
			進捗率	100.00 %	進捗率	249.55 %	
確認方法	施設台帳		入館カウンター、施設利用台帳				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	きれい・楽しい・おいしいを体感できるようにしてほしい
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	改善
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	wi-fiが使えないことがある
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
	評価年月日			
	事業の評価			
	外部有識者からの意見			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日			
	今後の方針			
	今後の方針の理由			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：イベント場所の確保について検討いただきたい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		

1	予算事業名	ニューツーリズム開発促進事業	担当課	産業課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	5 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化する				
		具体的な施策	(5) 地域資源を活用した「ひと」「もの」の流れの向上				
			② (変更前) グリーンツーリズムの推進→(後) ニューツーリズムの推進				
		具体的な事業	ニューツーリズム開発促進事業(新規)				
掲載ページ	31 頁						
3	事業概要	栗山川、九十九里浜、四季折々の田園風景、多彩な農産物など、町の地域資源を活用したニューツーリズムを開発し、観光活用と情報発信により新たな産業として発展させる。					
4	事業年度	平成29年度～平成31年度					
5	取組実績と今後の予定	27年度実績					
		28年度実績	タウンマネジメント人材育成事業や千葉大学COCプラス連携事業と連携して、検討準備を行った。				
		29年度実績	町の資源を活用したモニターツアーを実施し、販売から実施までの工程を研究した。また栗山川の資源を活用するため、カヤックの講習会やインストラクターの資格を取得し、ツアーガイドを育成した。 栗山川ツアーガイド講師謝礼140,864円、指導員養成旅費13,800円、ガイド用ユニフォーム等需用費276,225円、ツアー開発用カヤック購入費448,459円、指導者講習検定負担金37,250円 合計916,598円				
		30年度実績	ニューツーリズムに関連した地域資源情報を全国に発信し、観光交流人口の増加を図るため、平成31年2月モンベルフレンドエリア(タウン)登録を行った。また、タウンマネジメント事業と連携を図り、カヤックガイドの育成とモンベル公認のスクール校登録の準備を行った。移住定住サポートセンターと連携し、カヤック体験ツアーを実施した。 関係旅費10,326円 フレンドエリア(タウン)登録負担金151,200円				
		31年度実績	モンベルフレンドエリア(タウン)の登録を継続した。(負担金907,200円) 町内フレンドショップ4→6件、フレンドマーケット出品事業者0→2件を増やした。 モンベルフレンドフェアに出展し、モンベル会員へ町のPRを実施した。(出店費用84,569円) 栗山川カヤックツアー実施のために関係機関と調整し、河川使用許可を得て、ツアー準備に取り掛かった。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源
		⑳					
		㉑	1,002	1,002	雑	917	916 雑
		㉒	921	460	基金	162	81 基金
		㉓	1,028	514	基金	992	496 基金
		計	2,951	1,976		2071	1,493
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	ツアー参加人数【250人】	目標2	ツアーガイドの育成【15人】	
			計画	実績	計画	実績	
		㉑					
		㉒					
		㉓	50	36	5	5	
		㉔	80	42	5	1	
		㉕	120	30	5	0	
		計	250 人	108 人	15 件	6 件	
			進捗率	43.20 %	進捗率	40.00 %	
		確認方法	ツアー参加実績		ガイド登録者数		

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成29年7月10日
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない
			外部有識者からの意見	特になし
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成29年8月16日
			今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	平成30年7月9日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	特になし
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	平成30年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	令和元年7月1日
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった
			外部有識者からの意見	モンベルの体験会やショップの説明会を行うほか、受入体制を整え、町内宿泊業のコンテンツに出来たら魅力が上がるのではないかと
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和元年8月1日
			今後の方針	継続
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
			評価年月日	
			事業の評価	
			外部有識者からの意見	
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
	評価年月日			
	今後の方針			
	今後の方針の理由			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		
		評価：総合戦略のK P I 達成に有効であった 意見：サイクルツーリズムは周辺地域と連携し事業を進めるとよい		
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
		今後の方針：継続 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		